

一般教養科目

目次

| | | | |
|---|----|---|----|
| 401,402 サイエンス α (前期), β (後期)..... | 2 | 448,449 日本国憲法 B α (前期 a), B α (前期 b)..... | 35 |
| 403,404 マルチメディア A β (後期)、B β (後期)..... | 3 | 451,452 美術史 α (前期), β (後期)..... | 37 |
| 405,406 心理学 α (前期), β (後期)..... | 4 | 453,454 哲学 α (前期), β (後期)..... | 38 |
| 409,410 情報処理 A α (前期), A β (後期)..... | 6 | 455,456 体育講義・I α (前期), β (後期)..... | 40 |
| 411,412 情報処理 B α (前期), β (後期)..... | 8 | 457,458 体育講義・II α (前期), β (後期)..... | 41 |
| 413 情報処理 C α (前期)..... | 9 | 459,460 体育実技音楽家のためのトータルコンディショニング [*] α (前期), β (後期)..... | 43 |
| 415 情報処理 D α (前期)..... | 10 | 461,462 体育実技パフォーマンスアップ骨体操 α (前期), β (後 期)..... | 45 |
| 417,418 情報処理 E α (前期), β (後期)..... | 11 | 463,464 体育実技音楽家のための身体トレーニング α (前期), β (後期)..... | 46 |
| 419,420 ロシアの言語と文学 α (前期), β (後期)..... | 13 | 465,466 体育実技心身コントロール α (前期), β (後期)..... | 48 |
| 421,422 日本の言語と文学 α (前期), β (後期)..... | 15 | 467,468 体育実技骨盤・肩甲骨からのリラクゼーション α (前期), β (後期)..... | 50 |
| 423,424 英米の言語と文学 α (前期), β (後期)..... | 17 | 469,470 体育実技ナンバリスミック α (前期), β (後期)..... | 52 |
| 425,426 ドイツの言語と文学 α (前期), β (後期)..... | 18 | 471,472 体育実技体育実技 Let's Play! α (前期), β (後 期)..... | 53 |
| 427,428 フランスの言語と文学 α (前期), β (後期)..... | 20 | 473,474 体育実技音楽と共に生きる心と身体 α (前 期), β (後期)..... | 55 |
| 430,431 日本史 α (前期), β (後期)..... | 21 | 475,476 体育実技特別コース α (前期), β (後期)..... | 56 |
| 432,433 日本文化史 α (前期), β (後期)..... | 22 | 478,479 体育実技水泳 I α (前期), β (後期)..... | 57 |
| 434,435 西洋史 α (前期), β (後期)..... | 24 | | |
| 436,437 ヨーロッパ文化史 α (前期), β (後期)..... | 25 | | |
| 438,439 国際政治学 α (前期), β (後期)..... | 27 | | |
| 440,441 社会学 α (前期), β (後期)..... | 28 | | |
| 442,443 アート・マネージメント α (前期), β (後期)..... | 31 | | |
| 444,445 比較文化論 α (前期), β (後期)..... | 32 | | |
| 446,447 日本国憲法 A α (前期 a), A α (前期 b)..... | 34 | | |

401,402 サイエンス α (前期), β (後期)

| | | | |
|---------|----------|------|---------|
| 担当教員 | 里岡 純子 講師 | 曜日時限 | 木 2 時限 |
| 実施キャンパス | 調布 | 単位 | 各 2 単位 |
| | | 対象年次 | 学部 1 年～ |

【授業の概要】

サイエンスすなわち自然科学は、自然界に見られる現象に論理性と普遍的な法則を見いだす学問であり、情報のあふれる現代社会において、各自が適切な判断と選択をするために不可欠な教養である。前期は、生活の中の力、熱、電気などが関わる現象を扱い、後期は音と光に関わる現象を中心に波動について講義する。

【到達目標】

ニュースの中の出来事、身の回りの現象について科学的な考察を加えることが出来るようになること。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

義務教育の範囲の数学を修得していることが望ましい。

【授業の形式】

【遠隔】講義。 授業動画の視聴と課題の提出。

【成績評価の要点①】

| 試験 | 小テスト等 | レポート | 発表・作品 | 出席率 | 授業への取組 |
|----|-------|------|-------|-----|--------|
| | | ○ | | ○ | ○ |

【授業展開と内容-前期】

- | | |
|----------------------------------|--------------------------|
| 1.オリエンテーション: 単位と次元 | 理由 |
| 2.ベクトルとスカラー: $1+1=2$ は正しいか? | 8.圧力: ハイヒールに踏まれたくないのは何故か |
| 3.質点の運動の表し方: 動き方と力を結びつけるスタート | 9.流体: 重たい飛行機が浮かぶ不思議 |
| 4.運動の法則: ニュートンが見つけたこと | 10.熱と温度 I: 物体が姿を変えるとき |
| 5.仕事とエネルギー: 食べないと動けない | 11.熱と温度 II: エントロピーと不可逆性 |
| 6.剛体のつりあい: 大きさをもったものが止まっているということ | 12.電磁気 I: 電気と安全につきあう為に |
| 7.角運動量と慣性モーメント: 猫が犬よりも落下事故に強い | 13.電磁気 II: 電気と磁気の相互作用 |
| | 14.原子物理学: もっと小さな世界 |

【事前・事後学習-前期】

課題の内容を復習して理解を深め、返却された小テストを反省する。週 1 時間程度。

【授業展開と内容-後期】

- | | |
|------------------------|------------------------------|
| 1.オリエンテーション: 科学する姿勢 | 8.光波 I: 光を直線だと思ってみると |
| 2.波動とは?: 波の本質は「伝わる」こと | 9.光波 II: 光が波だから説明できる自然現象 |
| 3.波の一般的な性質: 重ね合わせの原理 | 10.光波 III: 完璧な虹を見る方法 |
| 4.音波 I: 弦と気柱の振動、音の3要素 | 11.光波 IV: 視覚の科学 |
| 5.音波 II: うなり、ドップラー効果 | 12.電磁波 I: 燈の歴史、紫外線と赤外線 |
| 6.音波 III: 超音波、テルミンのしくみ | 13.電磁波 II: 粒子と波の二重性 |
| 7.音波 IV: 音に秘められた驚きのパワー | 14.放射線とその応用: 有るか無いかではなく、量が問題 |

【事前・事後学習-後期】

課題の内容を復習して理解を深め、返却された小テストを復習する。週 1 時間程度。

【オフィスアワー】

質問などは、メールにて受け付けます。

| | | | | | |
|-------------------------------|--|----------|----|------------------|---------|
| 403,404 マルチメディア Aβ(後期)、Bβ(後期) | | | | | |
| 担当教員 | | 姫野 雅子 教授 | | 曜日時限 | |
| | | | | 木 2 時限 木 3 時限 | |
| 実施キャンパス | | 調布 | 単位 | 各 2 単位 | 対象年次 |
| | | | | | 学部 1 年～ |

【授業の概要】

「情報処理」で扱いきれないグラフィックを扱います。

「ワクワク感を伝える」をテーマに、ビデオ作成に取り組みます。具体的な内容は、画像編集、3D コンピュータグラフィック、動画編集です。実際に体験してもらい、今後の皆さんの活動に役立ててもらうのが目的です。

【到達目標】

この 1 年で Web 上での活動が大幅に拡大しました。今後、皆さんもオンラインを上手に使う必要があるでしょう。この授業では数種類のフリーアプリを使います。自分自身の PC で作業ができるよう、アプリをインストールし環境を整え、さまざまな機能を試しながら使えるようになることを目標とします。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

環境を整えることも目的の一つですから、PC を持っていることが受講条件となります。

(ノート PC の場合には、持参してもらっても構いません。デスクトップの場合には学校の PC を使ってもらいます)

基本的な PC 操作ができないと、厳しいです。(基準:ワープロでの文字入力には困らない、画像や図形などのコンテンツを扱ったことがある)

16名まで。オリエンテーションで履修希望調査をします。

【授業の形式】

【対面】実習が中心。特殊なアプリを使うこともあり、エラーやトラブルに対処するためです。また、課題資料の配信や提出等には、G-suite の Classroom を利用します。

【成績評価の要点①】

| 試験 | 小テスト等 | レポート | 発表・作品 | 出席率 | 授業への取組 |
|----|-------|------|-------|-----|--------|
| | | | ○ | ○ | ○ |

【成績評価の要点②】

複数の作品提出により総合的に評価します。

【授業展開と内容-後期】

1.Classroom に参加し、ここでの課題受取、提出の一連の作業を確認。

具体的には、画像編集ソフト GIMP をインストールし起動の確認、写真の色、明るさ調整をする

2.GIMP を使って、画像にドローイングする(絵を描いたり文字を入れたり)

3.GIMP を使って、合成写真作成方法をマスターする

4.引き続き、合成写真の作品作成

5.動画編集アプリ DaVinci Resolve の起動確認

静止画を使っての動画作成を通して、基本的な使い方をマスターする

6.DaVinci Resolve の使い方その2

さまざまなコンテンツを入れ込む(タイトル、サウンド、動画など)

7.DaVinci Resolve の使い方その3

小作品の作成を通して、ソフトの使い方に慣れる

8.3D コンピュータグラフィックソフト POVRAY の起動確認
 一連の作業を体験する
 6回分の授業で「Happy Birthday」のシーンを作成する
 9.POVRAY の使い方その2
 さまざまな形状を表現してみる
 10.POVRAY の使い方その3
 コンテンツ(形状)を飾り付ける、画像を張り付けて華やかに

する
 11.POVRAY の使い方その4
 動画にする準備
 12.POVRAY の使い方その5 作品作成
 13.POVRAY の使い方その6 作品作成
 14.静止画、動画、CG 画像、サウンドを組み合わせて、見
 ている人が「ワクワクする」動画に仕上げる

【事前・事後学習-後期】

自宅では PC へ授業で使うソフトをインストールしてもらおう。また、授業で完成しなかった分は自宅で作業をしてもらおう。
 作品の構成や、写真や動画の準備も必要です。(目安 30分程度)

【オフィスアワー】

木曜日の昼休み、授業が行われる教室

【教材】

プリントを配布します。

| | | | | | |
|--------------------------|----------|----|--------|--------|---------|
| 405,406 心理学 α(前期), β(後期) | | | | | |
| 担当教員 | 水野 泰尚 講師 | | 曜日時限 | 月 5 時限 | |
| 実施キャンパス | 調布 | 単位 | 各 2 単位 | 対象年次 | 学部 1 年～ |

【授業の概要】

心理学は「心」を科学する学問である。しかし、「心」は直接的には観測することは出来ない。そこで、心理学では、「心」に対する様々なアプローチが試みられてきた。前期の α では、より科学的な側面が強く、観察や実験を通して人間(人類)の心の特徴に迫ろうとする実験系の心理学に関して、これまで蓄積されてきた知見の基本的な部分を紹介していく。後期の β では、個人の心の動きに注目した臨床系の心理学について、その対象や心理療法、さらに関連する医療・福祉の分野の一部も含みつつ紹介していく。

【到達目標】

心理学について、基礎的な知識や考え方を学び、身につける。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

原則として、大学の講義に慣れた 2 年生以上が望ましいですが、1 年生でも初回の授業を視聴して、大丈夫そうであれば、受講希望を申し出ただけだと思います。

【授業の形式】

【遠隔】講義。

Google の Classroom を用いて、講義動画を配信します。各回に、教員自作のプリントを添付しますので、プリントを参照しながら講義動画を視聴してください。動画の視聴後に、Google フォームを用いて出席の確認や疑問・感想等の提出を求めます。

【成績評価の要点①】

| | | | | | |
|----|-------|------|-------|-----|--------|
| 試験 | 小テスト等 | レポート | 発表・作品 | 出席率 | 授業への取組 |
| | | ○ | | ○ | ○ |

【成績評価の要点②】

成績評価は、主に各学期末のレポート課題によって行います。

ただし、出席確認の Google フォームへの回答に基づいた出席率・授業への取組なども総合的に勘案して成績評価をします。

【授業展開と内容-前期】

- | | |
|-------------------------------|----------------------|
| 1.心理学とは～授業の概要～各種心理学の領域～心理学の歴史 | 8.学習・思考・記憶(学習心理学)③ |
| 2.知覚と認知(認知心理学)① | 9.発達・教育(発達心理学)① |
| 3.知覚と認知(認知心理学)② | 10.発達・教育(発達心理学)② |
| 4.欲求と感情(行動心理学)① | 11.対人心理と社会心理(社会心理学)① |
| 5.欲求と感情(行動心理学)② | 12.対人心理と社会心理(社会心理学)② |
| 6.学習・思考・記憶(学習心理学)① | 13.脳と生理心理学(生理心理学)① |
| 7.学習・思考・記憶(学習心理学)② | 14.脳と生理心理学(生理心理学)② |

【事前・事後学習-前期】

前期の心理学 α に関しては、シラバス下部の「テキスト」の欄の 1 番上にある「図説心理学入門[第 2 版]」を入手し、該当箇所に目を通しておくと、予習・復習やレポートの準備に役に立つと思います。(目安 30 分程度)

【授業展開と内容-後期】

- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| 1.授業の進め方／臨床心理学とは | ④ |
| 2.パーソナリティと健康① | 8.心理臨床の対象とその分類～診断基準と精神科領域～ |
| 3.パーソナリティと健康② | ⑤ |
| 4.心理臨床の対象とその分類～診断基準と精神科領域～① | 9.心理臨床の対象とその分類～診断基準と精神科領域～ |
| 5.心理臨床の対象とその分類～診断基準と精神科領域～② | ⑥ |
| 6.心理臨床の対象とその分類～診断基準と精神科領域～③ | 10.心理アセスメントと心理検査 |
| 7.心理臨床の対象とその分類～診断基準と精神科領域～ | 11.臨床心理学の理論と実践① |
| | 12.臨床心理学の理論と実践② |
| | 13.臨床心理学の理論と実践③ |
| | 14.臨床心理学の理論と実践④ |

【事前・事後学習-後期】

臨床の現場の話等も含まれるので、特に事前学習は求めません。ただし、講義動画を視聴した後、各自で復習し、内容をよく理解して下さい。(目安 30 分程度)

なお、後期の心理学 β の第 4 回～第 9 回に関しては、場合によっては視聴することが負担となることもあるかもしれませんので、その際は、出席確認の Google フォームの自由記述欄に一言その旨を記載した上で、動画の早送り等をして頂いて構いません。

【オフィスアワー】

遠隔授業のため、mizuno-yasunao@pl.tohomusic.ac.jp まで、まずはご連絡下さい。

【テキスト】

- 1.図説心理学入門[第 2 版] 齊藤 勇(編)
[誠信書房] 2005 年 ¥1,800 9784414301632

備考:前期(α)のテキスト。

授業に沿った内容が多く含まれ、入手して授業に臨むことが望ましい。

(図書館に配備:WR06-491)

- 2.心理学[新版] 大山 正、詫摩 武俊、中島 力/著
[有斐閣双書] 1993 年 ¥1,500 9784641111028

備考:前期(α)の参考図書。

少々古いがコンパクトな入門・概説書の定番として、追加で勉強する際の参考に。

(図書館に配備:WR06-292)

3.臨床心理学[第2版] 岡堂 哲雄(編)

[日本文化科学社] 1998年 ¥3,000 9784821061792

備考:後期(β)の参考図書。

通常の書店での新品での入手は難しいことが多い。本学図書館には配備。(WR06-480)

参考資料として有用。

4. はじめて学ぶ人の臨床心理学 杉原 一昭(監修)、渡辺 映子(編)、勝倉 孝治(編)

[中央法規出版] 2003年 ¥2,500 9784805823477

備考:後期(β)の参考図書。

一般的な臨床心理学の初学者向け。追加で勉強する際の参考に。

(図書館に配備:WR06-295)

5.よくわかる臨床心理学 山口 創

[川島書店] 2001年 ¥2,200 9784761007416

備考:後期(β)の参考図書。

一般的な臨床心理学の初学者向け。追加で勉強する際の参考に。

【教材】

【心理学 α 】 配布プリントを資料として各回にダウンロードできるようにします。上記のテキスト欄の1番上にある「図説心理学入門[第2版]」が手元にあると授業動画視聴時に理解の助けになると思います。

【心理学 β 】 配布プリントを資料として各回にダウンロードできるようにします。

【その他】

前期の α と後期の β は、それぞれ独立した単位であるため、前期のみ、後期のみの受講でも構いません。内容に関しても、一部リンクするところはあるが、原則として独立したものと考えているため、片方みの受講でも大丈夫なように配慮します。なお、出席確認の Google フォームの感想・疑問等の自由記述欄に記載された内容に関しては、次の回の講義でフィードバックを行います。

| | | | | | |
|---|----------|----|--------|--------|---------|
| 409,410 情報処理 A α (前期),A β (後期) | | | | | |
| 担当教員 | 姫野 雅子 教授 | | 曜日時限 | 月 2 時限 | |
| 実施キャンパス | 調布 | 単位 | 各 2 単位 | 対象年次 | 学部 1 年～ |

【授業の概要】

授業の目的は「PC の機能を使いこなそう」です。普段使わない機能も使ってみる、その上で主張したいことが確実に相手に伝わるように、表現力を身につけてもらいます。対象は PC 操作に苦手意識のある人から。

技術的には、課題作成に欠かせないワープロ(文字入力のみでなく、画像、表、グラフ、イラストを扱えるようにする)、表計算ソフト(計算式の使用方法をマスターし、報告書の形態で作成、データの並び替え、検索、集計ができるようにする)、スライド作成(画像、イラスト、サウンドなどのコンテンツを扱えるようにする)のスキル向上を目指します。

【到達目標】

自分自身の PC 環境を整え、今後の授業に積極的に利用できる。技術的には、ワープロ、表計算、プレゼンテーションの実践

的な使い方をマスターできるようにする。もともとの PC スキルは個人差が大きいですが、それぞれの学生に応じて上達する。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

特になし

【授業の形式】

【遠隔】講義。自分自身の PC 操作に慣れ、今後の生活に実際に使ってもらうためです。

条件: 自宅に PC を持っていること、課題作成には必ず PC を使ってもらいます。OSは Windows でも Mac でも構いません(タブレットも可、スマホは不可とします)

人数: 各自の PC 環境は異なるため、対応できる人数は一クラス16名までです。オリエンテーションでクラス調整を行います。

補足: Google の Classroom を使って課題配信・受取をします。

【成績評価の要点①】

| 試験 | 小テスト等 | レポート | 発表・作品 | 出席率 | 授業への取組 |
|----|-------|------|-------|-----|--------|
| | | | ○ | ○ | ○ |

【成績評価の要点②】

技術的なことに加え、表現の仕方に工夫がされているかをポイントにして評価します。

【授業展開と内容-前期】

1. PC 環境の確認(文字入力とタイピング、ファイル管理、Webドライブ利用の注意)
2. ワープロ①: レイアウト調整と主張したい部分の「強調」
3. ワープロ②: 表の使い方と画像の調整
4. ワープロ③: グラフの扱い方
5. ワープロ④: 図形を使っての使い方
6. ワープロ⑤: 図形、画像を使っての「ちらし」作成
7. ワープロ⑥: レイアウト整え(上級編: レポート形式)
8. 表計算①: 基本的な操作(計算式、関数、オート入力)
9. 表計算②: ビジネス文章(予算書など)作成
10. 表計算③: データベース機能
11. プレゼン①: 基本的な使い方
12. プレゼン②: 画像を多用してみる
13. プレゼン③: アニメ風に作成
14. プレゼン④: 最終課題作成

【事前・事後学習-前期】

課題作成のための準備を含めると、正規の時間(90分)の他に、平均30分から1時間を要します。この分を時間外学習と位置付けます。

【授業展開と内容-後期】

1. PC 環境の確認(文字入力とタイピング、ファイル管理、Webドライブ利用の注意)
2. ワープロ①: レイアウト調整と主張したい部分の「強調」
3. ワープロ②: 表の使い方と画像の調整
4. ワープロ③: グラフの扱い方
5. ワープロ④: 図形を使っての使い方
6. ワープロ⑤: 図形、画像を使っての「ちらし」作成
7. ワープロ⑥: レイアウト整え(上級編: レポート形式)
8. 表計算①: 基本的な操作(計算式、関数、オート入力)
9. 表計算②: ビジネス文章(予算書など)作成
10. 表計算③: データベース機能
11. プレゼン①: 基本的な使い方
12. プレゼン②: 画像を多用してみる
13. プレゼン③: アニメ風に作成
14. プレゼン④: 最終課題作成

【事前・事後学習-後期】

課題作成のための準備を含めると、正規の時間(90分)の他に、平均30分から1時間を要します。この分を時間外学習と位置付けます。

【オフィスアワー】

Classroom での「限定コメント」を通して、または Meet でのリモート相談を受け付けます。

連絡先: himeno.masako@g.tohomusic.ac.jp

411,412 情報処理 B α (前期), β (後期)

| | | | | | |
|---------|----------|------|--------|------|---------|
| 担当教員 | 姫野 雅子 教授 | 曜日時限 | 月 3 時限 | | |
| 実施キャンパス | 調布 | 単位 | 各 2 単位 | 対象年次 | 学部 1 年～ |

【授業の概要】

授業の目的は「PC の機能を使いこなそう」です。普段使わない機能も使ってみる、その上で主張したいことが確実に相手に伝わるように、表現力を身につけてもらいます。対象は PC 操作に苦手意識のある人から。

技術的には、課題作成に欠かせないワープロ(文字入力のみでなく、画像、表、グラフ、イラストを扱えるようにする)、表計算ソフト(計算式の使用方法をマスターし、報告書の形態で作成、データの並び替え、検索、集計ができるようにする)、スライド作成(画像、イラスト、サウンドなどのコンテンツを扱えるようにする)のスキル向上を目指します。

【到達目標】

自分自身の PC 環境を整え、今後の授業に積極的に利用できる。技術的には、ワープロ、表計算、プレゼンテーションの実践的な使い方をマスターできるようにする。もともとの PC スキルは個人差が大きいが、それぞれの学生に応じて上達する。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

特になし

【授業の形式】

【遠隔】講義 自分自身の PC 操作に慣れ、今後の生活に実際に使ってもらうためです。

条件:自宅に PC を持っていること、課題作成には必ず PC を使ってもらいます。OSは Windows でも Mac でも構いません(タブレットも可、スマホは不可とします)

人数:各自の PC 環境は異なるため、対応できる人数は一クラス16名までです。オリエンテーションでクラス調整を行います。

補足:Google の Classroom を使って課題配信・受取をします。

【成績評価の要点①】

| 試験 | 小テスト等 | レポート | 発表・作品 | 出席率 | 授業への取組 |
|----|-------|------|-------|-----|--------|
| | | | ○ | ○ | ○ |

【成績評価の要点②】

技術的なことに加え、表現の仕方に工夫がされているかをポイントにして評価します。

【授業展開と内容-前期】

- | | |
|--|-----------------------------|
| 1.PC 環境の確認(文字入力とタイピング、ファイル管理、Webドライブ利用の注意) | 8.表計算①:基本的な操作(計算式、関数、オート入力) |
| 2.ワープロ①:レイアウト調整と主張したい部分の「強調」 | 9.表計算②:ビジネス文章(予算書など)作成 |
| 3.ワープロ②:表の使い方と画像の調整 | 10.表計算③:データベース機能 |
| 4.ワープロ③:グラフの扱い方 | 11.プレゼン①:基本的な使い方 |
| 5.ワープロ④:図形を使っての使い方 | 12.プレゼン②:画像を多用してみる |
| 6.ワープロ⑤:図形、画像を使っての「ちらし」作成 | 13.プレゼン③:アニメ風に作成 |
| 7.ワープロ⑥:レイアウト整え(上級編:レポート形式) | 14.プレゼン④:最終課題作成 |

【事前・事後学習-前期】

課題作成のための準備を含めると、正規の時間(90分)の他に、平均30分から1時間を要します。この分を時間外学習と位置

付けます。

【授業展開と内容-後期】

- 1.PC 環境の確認(文字入力とタイピング、ファイル管理、Webドライブ利用の注意)
- 2.ワープロ①:レイアウト調整と主張したい部分の「強調」
- 3.ワープロ②:表の使い方と画像の調整
- 4.ワープロ③:グラフの扱い方
- 5.ワープロ④:図形を使つての使い方
- 6.ワープロ⑤:図形、画像を使つての「ちらし」作成
- 7.ワープロ⑥:レイアウト整え(上級編:レポート形式)
- 8.表計算①:基本的な操作(計算式、関数、オート入力)
- 9.表計算②:ビジネス文章(予算書など)作成
- 10.表計算③:データベース機能
- 11.プレゼン①:基本的な使い方
- 12.プレゼン②:画像を多用してみる
- 13.プレゼン③:アニメ風に作成
- 14.プレゼン④:最終課題作成

【事前・事後学習-後期】

課題作成のための準備を含めると、正規の時間(90分)の他に、平均30分から1時間を要します。この分を時間外学習と位置付けます。

【オフィスアワー】

Classroom での「限定コメント」を通して、または Meet でのリモート相談を受け付けます。

連絡先:himeno.masako@g.tohomusic.ac.jp

| | | | | | |
|-------------------|----------|----|------|--------|---------|
| 413 情報処理 C α (前期) | | | | | |
| 担当教員 | 姫野 雅子 教授 | | 曜日時限 | 月 4 時限 | |
| 実施キャンパス | 調布 | 単位 | 2 単位 | 対象年次 | 学部 1 年～ |

【授業の概要】

授業の目的は「PC の機能を使いこなそう」です。普段使わない機能も使ってみる、その上で主張したいことが確実に相手に伝わるように、表現力を身につけてもらいます。対象は PC 操作に苦手意識のある人から。

技術的には、課題作成に欠かせないワープロ(文字入力のみでなく、画像、表、グラフ、イラストを扱えるようにする)、表計算ソフト(計算式の使用方法をマスターし、報告書の形態で作成、データの並び替え、検索、集計ができるようにする)、スライド作成(画像、イラスト、サウンドなどのコンテンツを扱えるようにする)のスキル向上を目指します。

【到達目標】

自分自身の PC 環境を整え、今後の授業に積極的に利用できる。技術的には、ワープロ、表計算、プレゼンテーションの実践的な使い方をマスターできるようにする。もともとの PC スキルは個人差が大きいですが、それぞれの学生に応じて上達する。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

特になし

【授業の形式】

【遠隔】講義 : 自分自身の PC 操作に慣れ、今後の生活に実際に使ってもらうためです。

条件: 自宅に PC を持っていること、課題作成には必ず PC を使ってもらいます。OSは Windows でも Mac でも構いません(タブレットも可、スマホは不可とします)

人数: 各自の PC 環境は異なるため、対応できる人数は一クラス16名までです。オリエンテーションでクラス調整を行います。

補足: Google の Classroom を使って課題配信・受取をします。

【成績評価の要点①】

| | | | | | |
|----|-------|------|-------|-----|--------|
| 試験 | 小テスト等 | レポート | 発表・作品 | 出席率 | 授業への取組 |
| | | | ○ | ○ | ○ |

【成績評価の要点②】

技術的なことに加え、表現の仕方に工夫がされているかをポイントにして評価します。

【授業展開と内容-前期】

- | | |
|---|-------------------------------|
| 1. PC 環境の確認(文字入力とタイピング、ファイル管理、Webドライブ利用の注意) | 8. 表計算①: 基本的な操作(計算式、関数、オート入力) |
| 2. ワープロ①: レイアウト調整と主張したい部分の「強調」 | 9. 表計算②: ビジネス文章(予算書など)作成 |
| 3. ワープロ②: 表の使い方と画像の調整 | 10. 表計算③: データベース機能 |
| 4. ワープロ③: グラフの扱い方 | 11. プレゼン①: 基本的な使い方 |
| 5. ワープロ④: 図形を使っての使い方 | 12. プレゼン②: 画像を多用してみる |
| 6. ワープロ⑤: 図形、画像を使っての「ちらし」作成 | 13. プレゼン③: アニメ風に作成 |
| 7. ワープロ⑥: レイアウト整え(上級編: レポート形式) | 14. プレゼン④: 最終課題作成 |

【事前・事後学習-前期】

課題作成のための準備を含めると、正規の時間(90分)の他に、平均30分から1時間を要します。この分を時間外学習と位置付けます。

【オフィスアワー】

Classroom での「限定コメント」を通して、または Meet でのリモート相談を受け付けます。

連絡先: himeno.masako@g.tohomusic.ac.jp

| | | | | | |
|--------------------------|--|-----------|--|-------------|--|
| 415 情報処理 D α (前期) | | | | | |
| 担当教員 | | 姫野 雅子 教授 | | 曜日時限 | |
| | | | | 木 3 時限 | |
| 実施キャンパス | | 単位 | | 対象年次 | |
| 調布 | | 2 単位 | | 学部 1 年～ | |

【授業の概要】

授業の目的は「PC の機能を使いこなそう」です。普段使わない機能も使ってみる、その上で主張したいことが確実に相手に伝わるように、表現力を身につけてもらいます。対象は PC 操作に苦手意識のある人から。

技術的には、課題作成に欠かせないワープロ(文字入力のみでなく、画像、表、グラフ、イラストを扱えるようにする)、表計算ソフト(計算式の使用方法をマスターし、報告書の形態で作成、データの並び替え、検索、集計ができるようにする)、スライド作成(画像、イラスト、サウンドなどのコンテンツを扱えるようにする)のスキル向上を目指します。

【到達目標】

自分自身の PC 環境を整え、今後の授業に積極的に利用できる。技術的には、ワープロ、表計算、プレゼンテーションの実践的な使い方をマスターできるようにする。もともとの PC スキルは個人差が大きいですが、それぞれの学生に応じて上達する。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

特になし

【授業の形式】

【遠隔】講義 : 自分自身の PC 操作に慣れ、今後の生活に実際に使ってもらうためです。

条件:自宅に PC を持っていること、課題作成には必ず PC を使ってもらいます。OSは Windows でも Mac でも構いません(タブレットも可、スマホは不可とします)

人数:各自の PC 環境は異なるため、対応できる人数はクラス16名までです。オリエンテーションでクラス調整を行います。

補足:Google の Classroom を使って課題配信・受取をします。

【成績評価の要点①】

| | | | | | |
|----|-------|------|-------|-----|--------|
| 試験 | 小テスト等 | レポート | 発表・作品 | 出席率 | 授業への取組 |
| | | | ○ | ○ | ○ |

【成績評価の要点②】

技術的なことに加え、表現の仕方に工夫がされているかをポイントにして評価します。

【授業展開と内容-前期】

- | | |
|--|-----------------------------|
| 1.PC 環境の確認(文字入力とタイピング、ファイル管理、Webドライブ利用の注意) | 8.表計算①:基本的な操作(計算式、関数、オート入力) |
| 2.ワープロ①:レイアウト調整と主張したい部分の「強調」 | 9.表計算②:ビジネス文章(予算書など)作成 |
| 3.ワープロ②:表の使い方と画像の調整 | 10.表計算③:データベース機能 |
| 4.ワープロ③:グラフの扱い方 | 11.プレゼン①:基本的な使い方 |
| 5.ワープロ④:図形を使っての使い方 | 12.プレゼン②:画像を多用してみる |
| 6.ワープロ⑤:図形、画像を使っての「ちらし」作成 | 13.プレゼン③:アニメ風に作成 |
| 7.ワープロ⑥:レイアウト整え(上級編:レポート形式) | 14.プレゼン④:最終課題作成 |

【事前・事後学習-前期】

課題作成のための準備を含めると、正規の時間(90分)の他に、平均30分から1時間を要します。この分を時間外学習と位置付けます。

【オフィスアワー】

Classroom での「限定コメント」を通して、または Meet でのリモート相談を受け付けます。

連絡先:himeno.masako@g.tohomusic.ac.jp

| | | | | | |
|--|----------|----|--------|--------|---------|
| 417,418 情報処理 E α (前期), β (後期) | | | | | |
| 担当教員 | 姫野 雅子 教授 | | 曜日時限 | 金 4 時限 | |
| 実施キャンパス | 調布 | 単位 | 各 2 単位 | 対象年次 | 学部 1 年～ |

【授業の概要】

授業の目的は「PC の機能を使いこなそう」です。普段使わない機能も使ってみる、その上で主張したいことが確実に相手に伝わるように、表現力を身につけてもらいます。対象は PC 操作に苦手意識のある人から。

技術的には、課題作成に欠かせないワープロ(文字入力のみでなく、画像、表、グラフ、イラストを扱えるようにする)、表計算ソフト(計算式の使用方法をマスターし、報告書の形態で作成、データの並び替え、検索、集計ができるようにする)、スライド作成(画像、イラスト、サウンドなどのコンテンツを扱えるようにする)のスキル向上を目指します。

【到達目標】

自分自身の PC 環境を整え、今後の授業に積極的に利用できる。技術的には、ワープロ、表計算、プレゼンテーションの実践的な使い方をマスターできるようにする。もともとの PC スキルは個人差が大きいですが、それぞれの学生に応じて上達する。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

特になし

【授業の形式】

【遠隔】 講義 : 自分自身の PC 操作に慣れ、今後の生活に実際に使ってもらうためです。

条件: 自宅に PC を持っていること、課題作成には必ず PC を使ってもらいます。OSは Windows でも Mac でも構いません(タブレットも可、スマホは不可とします)

人数: 各自の PC 環境は異なるため、対応できる人数はクラス16名までです。オリエンテーションでクラス調整を行います。

補足: Google の Classroom を使って課題配信・受取をします。

【成績評価の要点①】

| 試験 | 小テスト等 | レポート | 発表・作品 | 出席率 | 授業への取組 |
|----|-------|------|-------|-----|--------|
| | | | ○ | ○ | ○ |

【成績評価の要点②】

技術的なことに加え、表現の仕方に工夫がされているかをポイントにして評価します。

【授業展開と内容-前期】

1. PC 環境の確認(文字入力とタイピング、ファイル管理、Webドライブ利用の注意)
2. ワーク①: レイアウト調整と主張したい部分の「強調」
3. ワーク②: 表の使い方と画像の調整
4. ワーク③: グラフの扱い方
5. ワーク④: 図形を使っての使い方
6. ワーク⑤: 図形、画像を使っての「ちらし」作成
7. ワーク⑥: レイアウト整え(上級編: レポート形式)
8. 表計算①: 基本的な操作(計算式、関数、オート入力)
9. 表計算②: ビジネス文章(予算書など)作成
10. 表計算③: データベース機能
11. プレゼン①: 基本的な使い方
12. プレゼン②: 画像を多用してみる
13. プレゼン③: アニメ風に作成
14. プレゼン④: 最終課題作成

【事前・事後学習-前期】

授業内で指示した内容を予習してくる。原則として、授業で出す課題等によって復習を行うこと。(目安各60分)

【授業展開と内容-後期】

1. PC 環境の確認(文字入力とタイピング、ファイル管理、Webドライブ利用の注意)
2. ワーク①: レイアウト調整と主張したい部分の「強調」
3. ワーク②: 表の使い方と画像の調整
4. ワーク③: グラフの扱い方
5. ワーク④: 図形を使っての使い方
6. ワーク⑤: 図形、画像を使っての「ちらし」作成
7. ワーク⑥: レイアウト整え(上級編: レポート形式)
8. 表計算①: 基本的な操作(計算式、関数、オート入力)
9. 表計算②: ビジネス文章(予算書など)作成
10. 表計算③: データベース機能
11. プレゼン①: 基本的な使い方
12. プレゼン②: 画像を多用してみる
13. プレゼン③: アニメ風に作成
14. プレゼン④: 最終課題作成

【事前・事後学習-後期】

授業内で指示した内容を予習してくる。原則として、授業で出す課題等によって復習を行うこと。(目安各60分)

【オフィスアワー】

Classroom での「限定コメント」を通して、または Meet でのリモート相談を受け付けます。

連絡先: himeno.masako@g.tohmusic.ac.jp

419,420 ロシアの言語と文学 α(前期), β(後期)

| | | | | | |
|---------|---------|------|--------|------|---------|
| 担当教員 | 長井 淳 講師 | 曜日時限 | 木 5 時限 | | |
| 実施キャンパス | 調布 | 単位 | 各 2 単位 | 対象年次 | 学部 1 年～ |

【授業の概要】

ロシア語とロシア文学を学びます。ロシア語の習得はロシア留学や旅行の際、そして何よりロシア音楽の理解に役立ちます。キリル文字が発音できるようになればロシア歌曲をレパートリーとすることもできます。文学講義に関しては、ロシア音楽を理解するために必要な背景として、音楽化されたものを中心に、フォークロア(民話、民謡)、中世文学、近代小説、近現代詩を取り上げます。

【到達目標】

ロシア語の文字と発音に慣れること、基本的な文法構造を理解すること、簡単な文章が読め、簡単な表現ができるようになること、ロシア文学の読み方を会得すること、そして何よりロシアの文学、音楽を身近に感じてもらうことです。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

ロシア語とロシア文学に関する知識がゼロの履修生を想定しています。但し、履修の最低条件として、まじめに取り組む意志のあること、特に復習をきちんとすることを挙げておきます。

* オンデマンド授業という形につき、課題提出の際はパソコン、スマホ、タブレット等でキリル文字の入力をしてもらうことになります。キリル文字入力の方法は使用デバイスによって異なるので、基本的に自分で解決してください(詳細は授業で説明します)。

** 発音確認等のためにスマホや IC レコーダー等で自分の発音を録音し、メールに添付し、送ってもらうことになります。声の録音方法、メールへの添付方法は、基本的に自分で解決してください。

*** オンデマンド授業は単に授業動画を視聴し、課題を提出して終わりではありません。メールでの連絡のやりとりがきちんとできる人のみ受講してください。

**** 前期の α、後期の β をセットで履修することを前提に授業を進めます。ロシア語をまったく勉強したことのない人は後期の β のみ受講することはできません。

【授業の形式】

【遠隔】演習+講義

各回とも基本的に授業の前半は語学演習、後半は文学講義となります(語学演習のみの回もあります)。語学演習では、ロシア語力を着実に積みあげてもらうために、授業後ロシア語ドリルに取り組んでもらいます。この課題の提出をもって出席とみなします。文学講義では映像資料を積極的に活用し、具体的なイメージをつかんでもらいます。文学講義に関するコメントシートを提出してもらう回もあります。取り上げる作品は語学演習の進捗、受講生の関心により予定を変更する場合があります。

* 課題の提出締切は授業日(配信日)の翌日 24:00 とします。それ以後の提出は遅刻扱いとし、出席点を 1/2 とします(次の授業前日 24:00 をもって受付を停止します)。

** 試験は Meet(あるいは Zoom)を用いた対面式となる予定です。実施日時に関しては、個別的に調整することになります。

【成績評価の要点①】

| 試験 | 小テスト等 | レポート | 発表・作品 | 出席率 | 授業への取組 |
|----|-------|------|-------|-----|--------|
| ○ | ○ | | | ○ | ○ |

【成績評価の要点②】

ロシア語ドリル、文学コメントシート、出席率、授業への取り組み(メールでの連絡のやり取りが円滑にできるか等)の 4 項目を

点数化したものを平常点とします。試験の具体的な実施方法は授業の中で説明します。

【授業展開と内容-前期】

- 1.「こんにちは!」:ガイドンス、挨拶、文字と発音(1)
- 2.文字と発音(2) /ロシア民話「ヤガーばあさん」(1):アフナーシェフとロシア民話、プロップによる民話の構造分析
- 3.文字と発音(3) /ロシア民話「ヤガーばあさん」(2):ロシア文化における白樺
- 4.「この人は誰ですか?」:疑問詞 *кто* /ロシア民話「ヤガーばあさん」(3):民話「野に白樺立てり」～ロシア民話とは
- 5.「これは何ですか?」:疑問詞 *что* /プーシキン(1)の詩(1)～ロシア詩の構造
- 6.「ロシアの音楽」:形容詞(1)/プーシキンの詩(2)～ロマン主義の詩の特徴
- 7.「わたしの家族」:所有代名詞(1)/プーシキン『エヴゲーニー・オネーギン』(1)
- 8.「うちの犬です」:所有代名詞(2) /プーシキン『エヴゲーニー・オネーギン』(2)
- 9.「うちの新車です」:形容詞(2)/プーシキン『エヴゲーニー・オネーギン』(3)
- 10.「イワンは働いています」:動詞(1) /中世文学『イーゴリ遠征物語』(1)
- 11.「ロシア語を勉強しています」:動詞(2)/中世文学『イーゴリ遠征物語』(2)
- 12.「英語が話せますか?」:動詞(3)/ゴゴリ『外套』(1)
- 13.「電話中です」:動詞(4)/ゴゴリ『外套』(2)
- 14.学習内容のまとめ(進度によって授業内容が変更される場合があります)

【事前・事後学習-前期】

語学学習は復習が必須です。授業で学んだ単語・表現を覚えてきてください。15～30分でよいので、なるべく毎日ロシア語に接してください。文学に関しては、授業で取り上げる作品を事前に読んできてください。読むべき翻訳は教場で説明します。

【授業展開と内容-後期】

- 1.「ボルシチが好きです」:名詞の対格(1)/プーシキン『ボリス・ゴドゥノフ』(1)
- 2.「ミーシャは音楽を聴いています」:名詞の対格(2)/プーシキン『ボリス・ゴドゥノフ』(2)
- 3.「私は音楽を聴くのがとても好きです」:「～が好きだ」の表現/ドストエフスキー『罪と罰』(1)
- 4.「地下鉄はどこにありますか?」:場所の表現/ドストエフスキー『罪と罰』(2)
- 5.「ピロシキが食べたい」:「～したい」の表現/ドストエフスキー『罪と罰』(3)
- 6.「メニューを見せてください」:命令形/ドストエフスキー『カラマーゾフの兄弟』(1)
- 7.「今何時ですか?」:時刻の表現(1)/ドストエフスキー『カラマーゾフの兄弟』(2)
- 8.「8時に夕食をとります」:時刻の表現(2)/ドストエフスキー『カラマーゾフの兄弟』(3)
- 9.「彼は21歳です」:年齢の表現/チエーホフ『犬を連れた奥さん』
- 10.「どこへ行くのですか?」:移動動詞 *идти* /チエーホフの戯曲(1)
- 11.「弟は小学校に通っている」:移動動詞 *ходить* /チエーホフの戯曲(2)
- 12.「ボリショイ劇場に向かっていきます」:移動動詞 *ехать・ездить* /「雪解け」と文学、芸術;音楽教育とコンクール
- 13.これはニーナの楽譜です:所有表現
- 14.学習内容のまとめ(進度によって授業内容が変更される場合があります)

【事前・事後学習-後期】

語学学習は復習が必須です。授業で学んだ単語・表現を覚えてきてください。15～30分でよいので、なるべく毎日ロシア語に接してください。文学に関しては、授業で取り上げる作品をできるかぎり事前に読んできてください。特にドストエフスキー作品は長いので夏休みに読むことを勧めます。

【オフィスアワー】

質問はメールで受け付けます。また、オフィスアワーの代用として、希望者を対象として定期的に Meet(あるいは Zoom)を用いたロシア語ミーティングルームを授業時間外に開催し、質問に答えたり、簡単な発音指導、会話練習を行ないます。オンデマンド授業だと、特に発音の習得に不安があると思います。積極的に活用してください。

【テキスト】

1.『ロシア語へのパスポート 改訂版』中島由美、黒田龍之助、柳町裕子 2005年 ¥2,300 9784560016299

備考:書店、インターネットショップ等で各自、購入してください。初回授業で説明します。

【その他】

毎回プリントを配布します。辞書に関しては教場で説明するので、購入する場合はそのあとにしてください。

| | | | | | |
|-------------------------------|-----------|----|--------|-------|---------|
| 421,422 日本の言語と文学 α(前期), β(後期) | | | | | |
| 担当教員 | 西野入 篤男 講師 | | 曜日時限 | 水 2時限 | |
| 実施キャンパス | 調布 | 単位 | 各 2 単位 | 対象年次 | 学部 1 年～ |

【授業の概要】

外国文化との交流を押さえながら、古代から中世までの〈うた〉と〈ものがたり〉を分析し、日本の文化や文学の特徴について考えていく。前期は『万葉集』『古今和歌集』『伊勢物語』『大和物語』『土佐日記』『蜻蛉日記』といった具体的な作品の表現世界に触れていく。後期は物語や史資料を取り巻く歴史的背景や文化状況を押さえながら、現代に通じる問題を古代文化・文学からどのように取り出していけるかを考えていく。

【到達目標】

日本の古典文学について知識を習得し、日本文化への理解を深める。東アジアの視点から日本文化を相対的に捉えられるようにする。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

特になし

【授業の形式】

【遠隔】講義

パワーポイントを用いた講義形式で授業を展開する

【成績評価の要点①】

| 試験 | 小テスト等 | レポート | 発表・作品 | 出席率 | 授業への取組 |
|----|-------|------|-------|-----|--------|
| ○ | | | | ○ | ○ |

【成績評価の要点②】

出席率40%、試験40%、その他(提出物や授業態度など)20%で成績を付ける

【授業展開と内容-前期】

1.第1回 オリエンテーション

「日本の言語と文学 α」の授業で何をやっていくか、問題はどいったところにあり、どのようにアプローチしていくのか解説していきます。

2.第2回 万葉集への招待

日本最古の和歌集である『万葉集』という書物について解説していきます。「令和」という元号についても触れてみたいと思います。

3.第3回 額田王と大海人皇子(1)

『万葉集』の額田王に関する解説と、その歌の特徴について解説していきます。

4.第4回 額田王と大海人皇子(2)

額田王の歌に対する大海人皇子の返歌を解説しながら、この贈答歌が宴の場で新しい恋の趣向を演じるものであったことを解説していきます。

5.第5回 古今和歌集の成立と構成

『古今和歌集』の成立と部立ての構造について説明します。

6.第6回 和歌の上昇と撰関政治

『古今和歌集』成立の背景に撰関政治との関わりにおいて社会的地位の向上した女性文化を見出ししていきます。

7.第7回 歌物語の世界(1)

歌物語というジャンルの解説と、『伊勢物語』の世界に触れていきます。

8.第8回 歌物語の世界(2)

『大和物語』の世界を、『伊勢物語』と比較しながら解説していきます。

9.第9回 正岡子規と日本社会

歌の伝統が近代になってどのように変化したのか考えていきます。正岡子規によってたどりますが、この回では当時の社会背景の解説をします。

10.第10回 正岡子規の写生文運動

【事前・事後学習-前期】

毎回授業で解説を聞いた後、必ず各自で復習し、内容をよく理解してください。次回の授業に向けて、予め読んでおく資料を指定することもあるので、そのような場合には必ず準備をしておくこと。(目安各60分)

【授業展開と内容-後期】

1.第1回 オリエンテーション

後期の授業についての説明と、古典文学の恋の典型である「噂」や「垣間見」について解説していきます。

2.第2回 平安時代の恋愛と結婚

平安時代の恋愛と結婚について『蜻蛉日記』や『和泉式部日記』、『落窪物語』や『源氏物語』を通して解説していきます。

3.第3回 四季の歌と恋の歌

季節と恋の和歌について解説します。絵的に想像力を喚起し、また掛詞で意味を重層化させていく和歌の特徴を学んでください。

4.第4回 平安朝の女房たち

平安時代の働く女性(女房)に注目していきます。

5.第5回 平安時代の情報網

平安時代の噂(情報)について、現代社会の課題と関わらせて考えていきます。

6.第6回 平安貴族の多忙な日常

平安時代の男性たちの家族経営の方法や働き方について見ていきます。

7.第7回 悲劇の型

平安時代に繰り返される悲恋物語のパターンについて、そ

【事前・事後学習-後期】

毎回授業で解説を聞いた後、必ず各自で復習し、内容をよく理解してください。次回の授業に向けて、予め読んでおく資料を指定することもあるので、そのような場合には必ず準備をしておくこと。(目安各60分)

正岡子規の写生文運動と、日本の新しい文章スタイルの創出との関係について解説していきます。

11.第11回 日記文学というジャンル

古代の〈日記〉というジャンルについて、紀貫之『土左日記』を資料として解説していきます。

12.第12回 『蜻蛉日記』の世界

菅原道綱母『蜻蛉日記』について解説しながら、古代の婚姻制度や女性の生き方について考えていきます。

13.第13回 『和泉式部日記』の世界

和泉式部『和泉式部日記』の特徴を、彼女の歌から読み解いていきます。

14.第14回「前期授業の総復習」

前期の授業を振り返ります。

のからくりを考えてみたいと思います。

8.第9回 別れと再会

古典文学に描かれた男女の別れと再会の物語を読み解いていきます。

9.第9回 歌徳説話

歌徳説話を足掛かりに、古代の夫婦関係について考えてみたいと思います。

10.第10回 災害と古代人

古代の人々が天災や厄災とどのように向き合ってきたのか、またフィクションの世界にどのように影響してきたかを概説していきます。

11.第11回 親子の物語

親と子の確執の物語から、現代社会に通じる問題意識や子どもの内面の成長について考えていきます。

12.第12回 物語の〈老い〉

老女の恋について『伊勢物語』を足掛かりに考えていきます。

13.第14回 琵琶法師

平家の亡霊を語った「琵琶法師」という存在について解説していきます。

14.第14回 後期授業のまとめ

【オフィスアワー】

水曜日、金曜日の授業時間前後に時間を確保します。

【その他】

課題に対するフィードバックは次週授業の最初に行います。

| | | | | | |
|--|----------|----|--------|--------|---------|
| 423,424 英米の言語と文学 α (前期), β (後期) | | | | | |
| 担当教員 | 長瀬 浩平 教授 | | 曜日時限 | 水 2 時限 | |
| 実施キャンパス | 調布 | 単位 | 各 2 単位 | 対象年次 | 学部 1 年～ |

【授業の概要】

この授業では受講者が「鑑賞し、味わえる」英詩(原則として、メロディが付いていて、歌として歌われるもの)を厳選して取り上げるつもりである。いわゆる Ballad と呼ばれるものを中心にして、時代的にはシェイクスピアの時代のものが多く選ばれる予定である。シェイクスピアの劇中に引用されているものや、言及されているもの、その頃から今も受け継がれているものなど、英米人たちが慣れ親しんでいる詩を読む予定であるが、その他にも、現代のものも読んでみたいと考えている。(＊授業予定に関しては、受講者の様子や反応を見ながら、柔軟に変えてゆく方針なので、予定通りではない可能性があり、前もってご了承ください。)

【到達目標】

初見で英詩を読んで、それを訳すことができ、鑑賞できること。また、自分の考え、感じたことを意見として記述することができること。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

英語上級「Level III」の者で、過去にこの授業を一度も受けたことのない者に限る。(過去の途中放棄者も受講できません。)

【授業の形式】

【対面】講義(演習+ディスカッション)＊ただし、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、【遠隔】(動画配信)で実施する。

【成績評価の要点①】

| 試験 | 小テスト等 | レポート | 発表・作品 | 出席率 | 授業への取組 |
|----|-------|------|-------|-----|--------|
| | | ○ | | ○ | ○ |

【授業展開と内容-前期】

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. INTRODUCTION | 8. シェイクスピアの作品から 1 |
| 2. イングランドのバラッド 1 | 9. シェイクスピアの作品から 2 |
| 3. イングランドのバラッド 2 | 10. スコットランドのバラッド 1 |
| 4. イングランドのバラッド 3 | 11. スコットランドのバラッド 2 |
| 5. 現代詩 1 | 12. シェイクスピアの作品から 3 |
| 6. シェイクスピアの時代から 1 | 13. シェイクスピアの作品から 4 |
| 7. シェイクスピアの時代から 2 | 14. 中世詩 |

【事前・事後学習-前期】

事前・事後学習: 英詩を初見で読むクラスなので、予習の必要はありません。ただし、前の週に学習したことに関連した話題が次の回に出ることもあり、習った内容を概観しておくこと。また、常にレポートの課題となる興味深いことを記憶に留めて、自分で調べておくこと。(60分)

*辞書持参

【授業展開と内容-後期】

- 1.INTRODUCTION
- 2.シェイクスピアの時代から 1
- 3.シェイクスピアの時代から 2
- 4.現代詩 1
- 5.ウェールズの詩
- 6.イギリス・ルネッサンス期の作品 1
- 7.現代詩 2
- 8.イングランドのバラッド 1
- 9.イギリスルネッサンス期の作品 2
- 10.現代詩 3
- 11.現代詩 4
- 12.イングランドのキャロル
- 13.イギリスルネッサンス期の作品 3
- 14.現代詩 5

【事前・事後学習-後期】

事前・事後学習:英詩を初見で読むクラスなので、予習の必要はありません。ただし、前の週に学習したことに関連した話題が次の回に出ることもあり、習った内容を概観しておくこと。また、常にレポートの課題となる興味深いことを記憶に留めて、自分で調べておくこと。(60分)

*辞書持参

【オフィスアワー】

水曜 2 限以降教員室(調布)

【教材】

毎回、プリントを配布する。

【その他】

課題に対するフィードバックは次週授業の最初に行います。

| | | | | | |
|---|----------|------|--------|------|---------|
| 425,426 ドイツの言語と文学 α (前期), β (後期) | | | | | |
| 担当教員 | 猪狩 弘美 講師 | 曜日時限 | 火 2 時限 | | |
| 実施キャンパス | 調布 | 単位 | 各 2 単位 | 対象年次 | 学部 1 年～ |

【授業の概要】

現代ドイツの社会や文化についての理解を深めることを念頭に置いて、ナチズムが台頭してくる時期以降の歴史を中心に、出来事や背景、いくつかのテーマについて基礎的なことを学んでいきます。理解の助けになる映像資料があれば、積極的に用います。

【到達目標】

- ・過去の出来事と現在の状況との関連について、考察するきっかけを得る。
- ・ドイツの歴史、文化に関するさまざまな側面について学んだことを、自身の音楽家としての活動のより深い理解へとつなげる。
- ・類似の事柄に関して、日本の場合についても考察できるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

本講義のテーマに関心を持っていること。必ずしもドイツ語既習である必要はありませんが、説明にドイツ語の用語が入ることがあります。

【授業の形式】

【遠隔】講義(動画や文書を配信するオンデマンド型で、Google Classroom を用いる予定です。)

【成績評価の要点①】

| 試験 | 小テスト等 | レポート | 発表・作品 | 出席率 | 授業への取組 |
|----|-------|------|-------|-----|--------|
| | | ○ | | ○ | ○ |

【成績評価の要点②】

- ・授業回数の三分の一以上欠席した場合は原則として評価の対象外とします。
- ・出席および課題提出状況、毎回提出してもらった振り返りシート(講義内容に関する質問、感想、コメント)および学期末レポートから把握する理解度と意欲を総合的に評価します。

【授業展開と内容-前期】

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1.導入(授業の概要、進め方など) | 8.強制収容所、ホロコースト(1) |
| 2.ドイツという国の範囲の変遷 | 9.強制収容所、ホロコースト(2) |
| 3.近代ドイツ社会とユダヤ人 | 10.反ナチ抵抗運動 |
| 4.ドイツの街並み、記念碑 | 11.生存者から見たホロコースト |
| 5.第一次世界大戦とドイツ | 12.ドイツ語圏の映画 |
| 6.戦間期ドイツとヴェルサイユ体制、ヒトラーの台頭 | 13.ドイツの教育制度 |
| 7.ユダヤ人迫害、反ユダヤ主義、その他の迫害 | 14.まとめ、レポートの書き方 |

【事前・事後学習-前期】

- 事前にテキストを読むように指示があった時は取り組んでください(目安 30 分～60 分)
 授業内容を振り返り、関連する文献を読んでさらに調べたり、考察したりしてください(目安 60 分)。

【授業展開と内容-後期】

- | | |
|----------------------------------|----------------------|
| 1.導入(授業の概要、進め方など) | 9.ナチズムをめぐる歴史論争 |
| 2.現在のドイツの政治制度 | 10.ドイツの兵役制度、ボランティア活動 |
| 3.第二次世界大戦敗戦(現代ドイツの起点としての 1945 年) | 11.ドイツ社会における移民 |
| 4.戦勝四か国による占領統治と冷戦の始まり | 12.ドイツ統一 |
| 5.東西ドイツ分断国家の成立、両国家の違い | 13.難民問題、現代ドイツにおける差別 |
| 6.「ベルリンの壁」建設 | 14.まとめ、レポートの書き方 |
| 7.「非ナチ化」の実態、アイヒマン裁判 | |
| 8.「68 年世代」が西ドイツ社会に与えた影響 | |

【事前・事後学習-後期】

- 事前にテキストを読むように指示があった時は取り組んでください(目安 30 分～60 分)
 授業内容を振り返り、関連する文献を読んでさらに調べたり、考察したりしてください(目安 60 分)。

【オフィスアワー】

課題提出や質問等は、Google Classroom で受け付ける予定です。メールでのやり取りも可能です。

【教材】

講義内容のレジユメを配布します。参考文献は、授業時に適宜紹介します。

【その他】

受講生のみさんの興味関心や理解度に応じて、進度・内容に変更が生じることがあります。課題に対するクラス全体へのフィードバックは次の授業時に行います。

427,428 フランスの言語と文学 α(前期), β(後期)

| | | | | | |
|---------|----------|------|--------|------|---------|
| 担当教員 | 角津 美愛 講師 | 曜日時限 | 木 3時限 | | |
| 実施キャンパス | 調布 | 単位 | 各 2 単位 | 対象年次 | 学部 1 年～ |

【授業の概要】

フランスの文学作品の「受容」をテーマに、オペラや映画、舞台、ミュージカルなどの作品の原作となった小説などを取り上げます。原作や作者について学び、映画やオペラ、舞台化された作品と原作との共通点や相違点、どのように脚色されているか、テーマ性などを見ていきます。

【到達目標】

フランス文学の知識を増やし興味を深める。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

フランスやフランス文学に興味がある学生。再履修不可。人数が多い場合は制限する場合があります。

【授業の形式】

【遠隔】 講義を中心に行いますが、テーマによっては演習も行います。映画や舞台の映像などと原作を比較しながら作品を見ていきます。

【成績評価の要点①】

| 試験 | 小テスト等 | レポート | 発表・作品 | 出席率 | 授業への取組 |
|----|-------|------|-------|-----|--------|
| | | ○ | | ○ | ○ |

【成績評価の要点②】

出席しているだけでなく、授業に参加し、取り組むことを必須とします。

【授業展開と内容-前期】

- | | |
|-------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. ガイダンス | 7. 17世紀の戯曲、モリエール |
| 2. 中世のフランス、『トリスタンとイゾルデ』 | 8. 18世紀のフランス、『マノン・レスコー』 |
| 3. 16世紀のフランス、シャルル・ペロー、赤ずきんちゃんについて 等 | 9. フランス革命、『危険な関係』 |
| 4. 16世紀から17世紀のフランス、眠れる森の美女について 等 | 10. 19世紀のフランス、『フィガロの結婚』『セビリアの理髪師』 |
| 5. 17世紀のフランス、『クレーヴの奥方』 | 11. ナポレオン、『ノートル・ダム・ド・パリ』 |
| 6. 『美女と野獣』 | 12. 『レ・ミゼラブル』 |
| | 13. 20世紀、『シラノ・ド・ベルジュラック』 |
| | 14. 前期のまとめ |

【事前・事後学習-前期】

授業で取り扱った作品に触れること(60分)

【授業展開と内容-後期】

- | | |
|-----------------------------|--------------------------------|
| 1. ガイダンス、フランス文学と映画の歴史について 等 | 7. ミュルジェール『ボヘミアン生活情景』と『ラ・ボエーム』 |
| 2. アレクサンドル・デュマ、『三銃士』 | 8. フロベール、モーパッサン |
| 3. 『モンテ・クリスト伯』 | 9. 『オペラ座の怪人』 |
| 4. バルザック、『ゴリオ爺さん』 | 10. ジュール・ヴェルヌ |
| 5. スタンダール『赤と黒』 | 11. 『星の王子さま』 |
| 6. 『パルムの僧院』、『恋愛論』 | 12. カミュ、サルトル |

【事前・事後学習-後期】

授業で取り扱った作品に触れること(60分)

【オフィスアワー】

木曜日 午後 調布教員室

【教材】

動画で配信

| | | | | | |
|---|---------|----|--------|--------|---------|
| 430,431 日本史 α (前期), β (後期) | | | | | |
| 担当教員 | 浅野 充 講師 | | 曜日時限 | 月 1 時限 | |
| 実施キャンパス | 調布 | 単位 | 各 2 単位 | 対象年次 | 学部 1 年～ |

【授業の概要】

<日本史 α >

日本の近代史を講義します。内容は第一次世界大戦から第二次世界大戦までを対象とします。基本的な政治や外交の流れをまず整理し、社会・文化などにも迫ります。

<日本史 β >

日本の現代史を講義します。内容は第二次世界大戦敗戦後の占領政策から現在までを対象とします。日本史 α の続きを扱います。この時代を知ることが現在の私たちの生活を知ることにつながります。

【到達目標】

ここ 100 年ほどの日本の歴史をしっかりと学び、日本や自分の現在を考えるための糧となるような知識を取得する。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

2019 年度(一昨年度)と内容が重なるので、2019 年度(一昨年度)受講者は受講しないこと。ただし、日本史 α と β は内容が別なので受講可能。

高校で日本史の近代史・現代史を学んでいなくても大丈夫です。

【授業の形式】

実施方式は【遠隔】授業です。「zoom 動画」と「まとめのプリント」「小テスト」(添付ファイルで配信)を用いて行います。非同時型の動画・文書配信型授業です。

【成績評価の要点①】

| | | | | | |
|----|-------|------|-------|-----|--------|
| 試験 | 小テスト等 | レポート | 発表・作品 | 出席率 | 授業への取組 |
| | ○ | ○ | | ○ | ○ |

【成績評価の要点②】

毎回提出してもらう小テストは授業回数の 3 分の 2 以上の提出を必要とする。

【授業展開と内容-前期】

- | | |
|--------------------------------|--|
| 1. 講義のガイダンスと導入 | 5. 第 1 次世界大戦・1920 年代の経済 1: 大戦景気・戦後恐慌・震災恐慌。 |
| 2. 第 1 次世界大戦と日本 1: 日本の参戦 | 6. 第 1 次世界大戦・1920 年代の経済 2: 金融恐慌・昭和恐慌 |
| 3. 第 1 次世界大戦と日本 2: 大戦中の日本の他の動き | |
| 4. 協調外交の展開: 大戦後・1920 年代の日本の外交 | |

- 7.1910年代・1920年代の日本人の生活 1:スペイン風邪。衣食住の変化。
- 8.1910年代・1920年代の日本人の生活 2:鉄道。娯楽。デパート。
- 9.軍部・右翼のテロリズムと満州事変の勃発

- 10.2・26事件と日中戦争の勃発
- 11.第2次世界大戦と太平洋戦争の勃発
- 12.太平洋戦争の推移と日本の敗戦
- 13.第2次世界対戦・太平洋戦争と国民の生活
- 14.学習内容のまとめ。レポートの作成。

【事前・事後学習-前期】

予習:配信されたまとめのプリントの空欄部分に正しい語を入れて、あらためて全体を見て、わからない・知りたいことや人物について自分で調べてみる。

復習:前回の授業内容を見て、自分がさらに知りたいことを考えてみる。
それぞれ20分ほど。

【授業展開と内容-後期】

- 1.講義のガイダンスと導入
- 2.敗戦後の日本:占領下の改革 1
- 3.敗戦後の日本:占領下の改革 2
- 4.敗戦後の日本:占領下の政治
- 5.敗戦後の日本:経済危機の対策
- 6.敗戦後・占領期の国民の生活 1:食生活
- 7.敗戦後・占領期の国民の生活 2:文化
- 8.敗戦後・占領期の国民の生活 3:事件・世相
- 9.占領政策の転換:国際情勢との関連
- 10.日本の独立回復と国際情勢
- 11.独立回復後の日本:55年体制の成立から終焉まで
- 12.この時期の経済:高度経済成長。低成長時代。バブル景気から現在まで。この時代の社会・生活などのトピックス1
- 13.現代の生活と文化:今につながるものとつながらないもの
- 14.学習内容のまとめ。レポートの作成。

【事前・事後学習-後期】

予習:配信されたまとめのプリントの空欄部分に正しい語を入れて、あらためて全体を見て、わからない・知りたいことや人物について自分で調べてみる。

復習:前回の授業内容を見て、自分がさらに知りたいことを考えてみる。
それぞれ20分ほど。

【オフィスアワー】

【遠隔】授業ですので、質問等は、メールにて受け付ける予定です。毎回提出する小テストの後に書いてもらえれば、対応します。小テストではない質問だけのメールでも大丈夫です。

【教材】

授業時に配信するプリント教材。各自整理して、保存しておくこと。

| | | | | | |
|----------------------------|---------|----|--------|--------|---------|
| 432,433 日本文化史 α(前期), β(後期) | | | | | |
| 担当教員 | 千田 実 講師 | | 曜日時限 | 月 3 時限 | |
| 実施キャンパス | 調布 | 単位 | 各 2 単位 | 対象年次 | 学部 1 年～ |

【授業の概要】

〈文化と国家〉

アジア主義から見る日本の文化というテーマのもと、岡倉天心『東洋の理想』『茶の本』において、天心が日本の文化をどのように論じているのかを検討する。『東洋の理想』と『茶の本』は、どちらも日本の文化を西洋の人々に紹介するために書かれ

たものだといえる。前期では『東洋の理想』を、後期では『茶の本』を読み、明治時代に西洋に向けて発信された「日本らしさ」がどのようなものだったのかを見ていきたい。

【到達目標】

一般に語られる日本文化史とは異なったところのある岡倉天心の日本文化論、日本文化史に接することで、私たちが知る日本の文化論や文化史がどのようにして成立していったのかを理解し、日本文化論、日本文化史が語る日本の「文化」とは何なのかについて考える視座を獲得することが目標となる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

特になし

【授業の形式】

【遠隔】講義中心

【成績評価の要点①】

| 試験 | 小テスト等 | レポート | 発表・作品 | 出席率 | 授業への取組 |
|----|-------|------|-------|-----|--------|
| | ○ | ○ | | ○ | ○ |

【成績評価の要点②】

期末に課すレポートの評価が成績評価で主となる。レポート課題については授業で説明する。積極的に授業に参加するよう心がけてほしい。

【授業展開と内容-前期】

- | | |
|----------------|---------------|
| 1.『東洋の理想』について | 8.『東洋の理想』七 |
| 2.『東洋の理想』一 | 9.『東洋の理想』八 |
| 3.『東洋の理想』十四 | 10.『東洋の理想』九 |
| 4.『東洋の理想』概要 | 11.レポートについて |
| 5.『東洋の理想』三、四、五 | 12.『東洋の理想』十 |
| 6.『東洋の理想』二 | 13.『東洋の理想』十一 |
| 7.『東洋の理想』六 | 14.『東洋の理想』まとめ |

【事前・事後学習-前期】

毎回授業で解説を聞いた後、必ず各自で復習し、内容をよく理解してください。次回の授業に向けて、予め読んでおく資料を指定することもあるので、そのような場合には必ず準備をしてくること。(目安各60分)

【授業展開と内容-後期】

- | | |
|---------------|---------------|
| 1.『茶の本』について | 8.『茶の本』第三章(1) |
| 2.『茶の本』第一章(1) | 9.『茶の本』第三章(2) |
| 3.『茶の本』第一章(2) | 10.『茶の本』第四章 |
| 4.『茶の本』第一章(3) | 11.レポートについて |
| 5.『茶の本』第一章(4) | 12.『茶の本』第五章 |
| 6.『茶の本』第二章(1) | 13.『茶の本』第六、七章 |
| 7.『茶の本』第二章(2) | 14.『茶の本』まとめ |

【事前・事後学習-後期】

毎回授業で解説を聞いた後、必ず各自で復習し、内容をよく理解してください。次回の授業に向けて、予め読んでおく資料を指定することもあるので、そのような場合には必ず準備をしてくること。(目安各60分)

【オフィスアワー】

月曜日 調布教室にて授業前後に時間を確保します。

【テキスト】

- 1.東洋の理想 岡倉天心 1986年 ¥800 4-06-158720-x

備考:W18-935。講談社学術文庫版でなくても構わない

2.茶の本 岡倉天心 1994年 ¥840 4-06-159138-x

備考:W18-936。講談社学術文庫版でなくても構わない

| | | | | | |
|--------------------------|----------|----|--------|--------|---------|
| 434,435 西洋史 α(前期), β(後期) | | | | | |
| 担当教員 | 米田 潔弘 教授 | | 曜日時限 | 月 3 時限 | |
| 実施キャンパス | 調布 | 単位 | 各 2 単位 | 対象年次 | 学部 1 年～ |

【授業の概要】

中世・ルネサンスから近現代までの西洋の歴史、社会、文化について、時代別・テーマ別に講義する。

ゲルマン人の移動によってローマ帝国が崩壊したのち、西洋文明が成立する中世封建社会からはじまって、ルネサンスと宗教改革、絶対王政から市民革命の時代を経て国民国家が成立する近代、そして近代の枠組みが再編成される現代までの歩みを概観する。

【到達目標】

政治・経済史的な事柄だけではなく、それぞれの時代の美術や音楽など芸術文化、社会の日常生活などにもふれるつもりである。西洋史の大きな流れをみていくとともに、西洋文明の成り立ちを深く理解することをめざす。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

特別な要件はありません。

【授業の形式】

【遠隔】講義 非同時型(オンデマンド動画)

【成績評価の要点①】

| 試験 | 小テスト等 | レポート | 発表・作品 | 出席率 | 授業への取組 |
|----|-------|------|-------|-----|--------|
| | | ○ | | ○ | ○ |

【成績評価の要点②】

毎回、授業について内容の理解とコメントを書いてもらいます。

授業回数の3分の1(5回)以上の欠席がある場合は、原則として失格とします。

【授業展開と内容-前期】

- | | |
|-----------------------------|---------------------------------|
| 1.はじめに:ゲルマン民族の移動から中世都市の成立まで | 9.修道院と修道会の歴史 |
| 2.ギリシア・ラテン・イスラームの3つの文化圏の成立 | 10.ヴァロワ朝と英仏百年戦争 |
| 3.西欧文明の誕生とイスラム世界 | 11.神聖ローマ帝国とハプスブルク家:スペイン系ハプスブルク家 |
| 4.ヴァイキングとノルマン人 | 12.差別と賤民の発生 |
| 5.ノルマン人の時代:オートヴィル家 | 13.中世ヨーロッパの都市生活 |
| 6.フランス王国の成立:カペー朝とプランタジユネ朝 | 14.中世ヨーロッパの都市生活 |
| 7.十字軍の時代 | |
| 8.十字軍の時代 | |

【事前・事後学習-前期】

指定された書籍の通読、各授業の事前・事後に60分程度の準備を前提とする。

【授業展開と内容-後期】

- 1.イタリア・ルネサンスの社会と芸術
- 2.16世紀:宗教改革と対抗宗教改革の時代:ローマ教皇と宗教改革、イエズス会、オラトリオ会など新しい修道会の誕生
- 3.ヴァロワ朝とフランス・ルネサンス:ルイ11世～アンリ2世(1461～1559)
- 4.フランス絶対王政への歩み:王の儀礼と祝祭(ヴァロワ朝～ブルボン朝)
- 5.17世紀ヨーロッパの社会と芸術:バロック時代の光と影
- 6.ロマノフ王朝の誕生と発展(1613～1725年)
- 7.18世紀ヨーロッパの社会と芸術:ロココの時代
- 8.18世紀のオーストリア:女帝マリア・テレジアの時代
- 9.18世紀のロシア:女帝エカテリーナ2世の時代
- 10.フランス革命とナポレオン
- 11.19世紀ヨーロッパの社会と芸術(1):フランス
- 12.19世紀ヨーロッパの社会と芸術(2):イタリア、ドイツ、オーストリア
- 13.ベル・エポック、帝国主義、第一次世界大戦
- 14.第二次世界大戦の時代

【事前・事後学習-後期】

指定された書籍の通読、各授業の事前・事後に60分程度の準備を前提とする。

【オフィスアワー】

随時メールで問い合わせてください。

【教材】

図書館の指定図書および授業中に配布するプリントで適宜紹介する。

| | | | | | |
|--|----------|----|--------|--------|---------|
| 436,437 ヨーロッパ文化史 α (前期), β (後期) | | | | | |
| 担当教員 | 米田 潔弘 教授 | | 曜日時限 | 水 2 時限 | |
| 実施キャンパス | 調布 | 単位 | 各 2 単位 | 対象年次 | 学部 1 年～ |

【授業の概要】

<イタリアの歴史・社会・文化>

ヨーロッパ文明のルーツをさぐる旅。

イタリア半島は、地中海の中央に位置することから、はるか昔からエトルリア、ギリシア、カルタゴ、ローマ、アラブ、ノルマン、ドイツ、フランス、スペイン、オーストリアなどさまざまな民族の侵入を受けてきた。そのためイタリアは、中央集権化が進んだイギリスやフランスと異なり、国家統一と独立は遅れたが、それがかえって自治独立の気風を培い、美術や音楽をはじめ多様な豊かな文化を生み出してきた。本講座ではイタリアの世界遺産を中心にヨーロッパ文化の重要なルーツをなしているイタリアの歴史、社会、芸術文化をみていく。

【到達目標】

イタリアは国家統一と独立が遅れ、イタリア王国が成立する 1861 年まではミラノ、ヴェネツィア、フィレンツェ、ローマ、ナポリなど多くの都市国家が存在していた。そのためイタリアには地域文化がいまだに残っており、イタリア人は愛国心以上に強い郷土意識をもっている。イタリアの魅力はこうした多様性にこそある。16～19 世紀にはグランド・ツアーが流行し、モンテニュー、モーツァルト、ゲーテなど多くの文人芸術家が南のベル・パエーゼ(美しい国)イタリアに憧れた。本講座では、多様な豊かな文化を生み出してきたイタリアの諸都市の歴史、社会、文化を考察する。毎回、都市とテーマに応じて世界遺産や美術関係の映像を楽しみながら、より深くヨーロッパの歴史、社会、文化を理解することをめざす。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

特別な要件はありません。

【授業の形式】

【遠隔】講義 非同時型(オンデマンド動画)

【成績評価の要点①】

| 試験 | 小テスト等 | レポート | 発表・作品 | 出席率 | 授業への取組 |
|----|-------|------|-------|-----|--------|
| | | ○ | | ○ | ○ |

【成績評価の要点②】

毎回、授業について内容の理解とコメントを書いてもらいます。授業回数の3分の1以上の欠席がある場合は、原則として失格とします。

【授業展開と内容-前期】

- 1.イタリアを旅した人々—チョーサー、モンテニュー、天正遣欧少年使節、モーツァルト、バーニー、ゲーテの足跡
- 2.トリノ(1):サヴォイア家
- 3.トリノ(2):ナポレオン、リソルジメント、ファシズム
- 4.ピエモンテのサクロ・モンテ群—キリスト教の信仰と巡礼
- 5.ミラノ(1):古代から中世・ルネサンス(ヴィスコンティ家、スフォルツァ家)
- 6.ミラノ(2):ハプスブルク家支配下の音楽生活とスカラ座
- 7.ミラノの周辺(1):ドニゼッティの生地ベルガモ、ストラディヴァリの街クレモナ、ブレッシャ
- 8.ミラノの周辺(2):マントヴァとゴンザーガ家
- 9.ミラノからヴェネツィアへ—ヴェローナ、ヴィチエンツァ、パドヴァ
- 10.ヴェネツィア(1):ヴェネツィア共和国の歴史と社会
- 11.ヴェネツィア(2):ヴェネツィアの外国人芸術家たち
- 12.エミリア街道(1):パルマとファルネーゼ家、パヴァロッティの生地モデナ
- 13.エミリア街道(2):ヨーロッパ最古の大学街ボローニャ、リミニ、ウルビーノ
- 14.サン・マリノ、モザイクの街ラヴェンナ、フェッラーラとエステ家

【事前・事後学習-前期】

各授業の事前・事後に60分程度の準備・復習を前提とする。

【授業展開と内容-後期】

- 1.エミリア街道(1):パルマ、モデナ
- 2.エミリア街道(2):ボローニャ、リミニ、ウルビーノ、サン・マリノ
- 3.フィレンツェ(1):フィレンツェの誕生と発展、メディチ家
- 4.フィレンツェ(2):メディチ家の宮廷祝祭とカルチョ・ストロリコ
- 5.ルッカ共和国:古代ローマの城塞都市、プッチーニの生地
- 6.トスカーナの丘陵都市:シエナ、サン・ジミニャーノ、ピエンツァ、モンタルチャーノ
- 7.ティレニア海の海洋都市:ピサ、リヴォルノ、ジェノヴァ
- 8.イタリアの「緑の心臓」ウンブリア:オルヴェエート、ペルージャ、アッシジ
- 9.ローマ(1):建国から中世・ルネサンスまで—皇帝のローマ、教皇のローマ
- 10.ローマ(2):バロック都市ローマの社会と芸術
- 11.ナポリ(1):古代～17世紀のナポリ副王時代
- 12.ナポリ(2):18世紀ナポリのブルボン王朝時代
- 13.南イタリア:アマルフィ、バーリ、アルベロベッロ、レッツェ、マテーラなど
- 14.文明の十字路シチリア:パレルモ、タオルミーナ、カターニア、シラクサ、アグリジェントなど

【事前・事後学習-後期】

各授業の事前・事後に60分程度の準備・復習を前提とする。

【オフィスアワー】

随時メールで受け付けます。

【教材】

指定図書および講義中に配布するプリントで適宜紹介します。

438,439 国際政治学 α(前期), β(後期)

| | | | |
|---------|----------|------|---------|
| 担当教員 | 小松 志朗 講師 | 曜日時限 | 金 5 時限 |
| 実施キャンパス | 調布 | 単位 | 各 2 単位 |
| | | 対象年次 | 学部 1 年～ |

【授業の概要】

この授業では、国際政治の歴史と現状を学んでいく。前期は、まず国際政治の現状を大まかにつかんでから、時代をさかのぼり主権国家体制の誕生以降の歴史を振り返る。後期は、国家以外のアクターにも視野を広げて、現代の様々な諸問題について理解を深める。また前・後期を通じて、音楽と国際政治の関係についても考えてみたい。

【到達目標】

国際政治の基礎的な知識を習得すること。また、その知識にもとづいて現代の諸問題について自分なりの視点と意見を確立し、それを論理的な文章で表現できること。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

アメリカとヨーロッパを中心とした近現代史、および現代の国際政治に興味がある人。

【授業の形式】

【遠隔】講義

オンラインでのオンデマンド動画による講義を中心に進めていく。

【成績評価の要点①】

| 試験 | 小テスト等 | レポート | 発表・作品 | 出席率 | 授業への取組 |
|----|-------|------|-------|-----|--------|
| | ○ | ○ | | ○ | ○ |

【授業展開と内容-前期】

- | | |
|--------------------------|--|
| 1. イントロダクション | 9. その時、音楽家は何をしていたのか: モーツァルト |
| 2. 21 世紀の国際政治: 覇権国と新興国 | 10. その時、音楽家は何をしていたのか: ベートーヴェン |
| 3. 主権国家体制の誕生と展開 | 11. その時、音楽家は何をしていたのか: フルトヴェングラー、 ショスタコーヴィチ |
| 4. 第一次・第二次世界大戦 | 12. その時、音楽家は何をしていたのか: ジミ・ヘンドリックス、 デヴィッド・ボウイ |
| 5. 冷戦 | 13. 討論: 音楽と国際政治 (2) |
| 6. 冷戦後のアジア | 14. 学習内容のまとめ |
| 7. 討論: 音楽と国際政治 (1) | |
| 8. その時、音楽家は何をしていたのか: バッハ | |

【事前・事後学習-前期】

毎回授業で解説を聞いた後、必ず各自で復習し、内容をよく理解してください。次回の授業に向けて、予め読んでおく資料を指定することもあるので、そのような場合には必ず準備をしてくること。(目安各60分)

【授業展開と内容-後期】

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. イントロダクション | 7. 日本とアジアと西洋音楽 |
| 2. グローバル・ヒストリー | 8. 日本人とジャズ |
| 3. 非国家主体 | 9. 冷戦とジャズ |
| 4. ノンナショナル・アイデンティティ | 10. 討論: 音楽と国際政治 (2) |
| 5. 人権・民主主義 | 11. ダニエル・バレンボイムの挑戦 (1) |
| 6. 討論: 音楽と国際政治 (1) | 12. ダニエル・バレンボイムの挑戦 (2) |

【事前・事後学習-後期】

毎回授業で解説を聞いた後、必ず各自で復習し、内容をよく理解してください。次回の授業に向けて、予め読んでおく資料を指定することもあるので、そのような場合には必ず準備をしてくること。(目安各60分)

【オフィスアワー】

金曜日 5限後 オンライン

【テキスト】

1.国際政治学をつかむ 新版 村田晃嗣他 2015年 ¥2,200 978-4641177222

備考:WR06-944 参考書

2.歴史家が見る現代世界 入江昭 2014年 ¥800 978-4062882576

備考:WR06-955 参考書

3.ポスト西洋世界はどこに向かうのか:「多様な近代」への大転換 C・カプチャン 2016年 ¥2,500 978-4326351671

備考:参考書

| | | | | | |
|--------------------------|---------|----|--------|-------|---------|
| 440,441 社会学 α(前期), β(後期) | | | | | |
| 担当教員 | 南 孝典 講師 | | 曜日時限 | 金 2時限 | |
| 実施キャンパス | 調布 | 単位 | 各 2 単位 | 対象年次 | 学部 1 年～ |

【授業の概要】

社会学 α(前期)では、19世紀に誕生した社会学のその主要な思想を取り上げて、この学問がどのような時代に誕生し発展していったのかを理解する。また、社会学に先立って共同体を考察対象としてきた古典的な社会思想についても学習する。そして社会学 β(後期)では、科学技術が進歩し、人もモノも情報も容易かつスピーディーに繋がるのが可能になったこの現代社会で、今いったいどのような問題が生じているのか、その背景も含めて考察していく。

【到達目標】

社会学 α(前期)の到達目標は、社会学の歴史の変遷や古典的な社会思想について説明できる。そして社会学 β(後期)の到達目標は、現代のさまざまな社会問題の背景や構造を理解した上で、その問題に関する自分の考えを表明することができる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

社会学 α(前期)のみの履修は認めるが、社会学 β(後期)のみの履修は認めない。また既にこれらの講義の単位を取得している学生の再履修についても制限する。

【授業の形式】

【遠隔】講義。社会学 α(前期)では、社会学や社会思想を説明する際には PowerPoint を使用し、そのプリントや文献資料を解説していく形で講義をすすめていく。社会学 β(後期)では、一つの社会問題をだいたい二回の講義時間をつかって考察していくが、授業の際には解説のプリントなどの配付資料や映像資料などを用いて、その社会問題の理解を深めるだけでなく、こちらの提示する設問に関して講義時間内に自分の考えをまとめてもらう。なお授業で配布したプリントについては、授業終了後にポータルサイトの「授業展開と内容」の項目からダウンロードできるようにアップする。

【成績評価の要点①】

| 試験 | 小テスト等 | レポート | 発表・作品 | 出席率 | 授業への取組 |
|----|-------|------|-------|-----|--------|
| ○ | ○ | | | ○ | ○ |

【成績評価の要点②】

社会学 α (前期)では授業内容の課題のプリント(20%)と定期試験(80%)の結果をもとに総合的に判断する。そして社会学 β (後期)も、毎回授業時間内に作成してもらおうリアクションペーパーの内容(60%)と定期試験(40%)をもとにして最終的な評価を行う。どちらの講義でも4回以上欠席した場合は単位を認めない。ただし病気や実習などのやむを得ない事情で休む場合は考慮するので、その場合は欠席届やその他の書類を提出すること。なお社会学 α の課題のプリントや、社会学全体の授業の進め方・成績評価については、初日のガイダンスでプリントを配布して詳しく説明します。

【授業展開と内容-前期】

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 1.ガイダンス・社会学とは何か | 7.古典的な社会思想(3) ロックとルソーの社会契約論 |
| 2.社会学の歴史(1) 社会学の登場とその第一世代について | 8.古典的な社会思想(4) 自由主義としての功利主義と義務論 |
| 3.社会学の歴史(2) 社会学の基礎を築いた第二世代について | 9.古典的な社会思想(5) ロールズの正義論 |
| 4.社会学の歴史(3) 社会学を発展させた第三世代について | 10.古典的な社会思想(6) アダム・スミスの経済思想 |
| 5.古典的な社会思想(1) アリストテレスの政治学 | 11.古典的な社会思想(7) マルクスの経済思想 |
| 6.古典的な社会思想(2) ホッブズの社会契約論 | 12.社会学の歴史(4):20世紀の社会学 |
| | 13.現代社会と社会学 |
| | 14.学習内容のまとめ |

【事前・事後学習-前期】

毎回授業で解説を聞いた後、必ず各自で復習し、内容をよく理解してください。次回の授業に向けて、予め読んでおく資料を指定することもあるので、そのような場合には必ず準備をしてくること。(目安各60分)

【授業展開と内容-後期】

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1.ガイダンス・現代社会のさまざまな問題 | 8.生命倫理の問題(1) |
| 2.教育問題(1) | 9.生命倫理の問題(2) |
| 3.教育問題(2) | 10.現代社会における家族の問題(1) |
| 4.性的マイノリティの問題(1) | 11.現代社会における家族の問題(2) |
| 5.性的マイノリティの問題(2) | 12.司法制度の問題(1) |
| 6.貧困と労働の問題(1) | 13.司法制度の問題(2) |
| 7.貧困と労働の問題(2) | 14.現代社会における社会問題とその構造 |

【事前・事後学習-後期】

毎回授業で解説を聞いた後、必ず各自で復習し、内容をよく理解してください。次回の授業に向けて、予め読んでおく資料を指定することもあるので、そのような場合には必ず準備をしてくること。(目安各60分)

【オフィスアワー】

講義(金曜日2時限目)前後の空き時間は講師控え室にいます。

【教材】**【社会学 α (前期)】**

- 市野川容孝『社会学』岩波書店
- 宮島喬『社会学原論』岩波書店
- 富永健一『社会学講義』中公新書
- 宇都宮京子『よくわかる社会学』ミネルヴァ書房
- 早川洋行『よくわかる社会史学』ミネルヴァ書房

デュルケーム『社会学講義』みすず書房
デュルケーム『社会学的方法の規準』岩波文庫
テンニエス『ゲゼルシャフトとゲマインシャフト(上・下)』岩波文庫
ウェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』岩波文庫
ウェーバー『社会学の根本概念』岩波文庫
ウェーバー『社会科学と社会政策にかかわる認識の「客観性」』岩波文庫
ミル『功利主義論集』京都大学学術出版会
ミル『自由論』岩波文庫
カント『道徳形而上学原論』岩波文庫
ホッブズ『リヴァイアサン(全4巻)』岩波文庫
ロック『統治二論』岩波文庫
ルソー『人間不平等起源論』岩波文庫
ルソー『社会契約論』岩波文庫
スミス『道徳感情論』岩波文庫
スミス『国富論(全3巻)』中公文庫
マルクス『経済学批判』岩波文庫
マルクス・エンゲルス『共産党宣言』岩波文庫
レヴィ=ストロース『構造人類学』みすず書房
ハーバーマス『コミュニケーション的行為の理論(全3巻)』未来社
ボードリヤール『消費社会の神話と構造』紀伊國屋書店
ブルデュー『実践感覚』みすず書房
ロールズ『正義論(改訂版)』紀伊國屋書店
サンデル『これからの正義の話をしよう』早川書房
ホネット『承認をめぐる闘争 社会的コンフリクトの道徳的文法』法政大学出版会

【社会学 β(後期)】

内田良『教育という病 子どもと先生を苦しめる「教育リスク」』光文社新書
鈴木翔『教室内カースト』光文社新書
ヴァネッサ・ベアード『性的マイノリティの基礎知識』作品社
薬師実芳・笹原千奈未・古堂達也・小川奈津己著『LGBTってなんだろう?』合同出版
湯浅誠『反貧困』岩波新書
大山典宏『生活保護VSワーキングプア』幻冬舎新書
児玉真美『死の自己決定権のゆくえ』大月書店
中島みち『「尊厳死」に尊厳はあるか』岩波新書
香川 知晶『命は誰のものか』ディスカヴァー携書
村田和木『「家族」をつくる 養親里親という生き方』中公新書ラクレ
ロジャー・グッドマン『日本の児童養護 児童養護学への招待』明石書店
矢満田篤二・萬屋育子『「赤ちゃん縁組」で虐待死をなくす 愛知方式が見つないだ命』光文社新書
小倉孝保『ゆれる死刑 アメリカと日本』岩波書店
菅野良司『冤罪の戦後史』岩波書店

【その他】

社会学 β で毎回提出してもらおうリアクションペーパーに対するフィードバックは次週授業時に行う。

442,443 アート・マネジメント α(前期), β(後期)

| | | | |
|---------|----------|------|---------|
| 担当教員 | 中山 夏織 講師 | 曜日時限 | 金 2 時限 |
| 実施キャンパス | 調布 | 単位 | 各 2 単位 |
| | | 対象年次 | 学部 1 年～ |

【授業の概要】

優れた芸術家であっても、活動を展開する国の政治・経済のシステムや社会風土から、遊離して存在することはできません。本講座では、芸術や芸術家の活動を支える文化政策とアートマネジメント理論、そして芸術活動に制限を与えてしまいがちな社会システムについて学び、芸術と社会との関係性を考えていきます。

【到達目標】

1. 文化政策の歴史的展開、性質、意思決定の構造を理解する。
2. 組織を形成する要素と動かす力を理解する。
3. 芸術と組織のリーダーとしての役割を担えるようになる。
4. 芸術労働の特殊性を理解する。
5. 著作権と契約との関係性を理解し、活用しうる。
6. 芸術家の社会における役割を理解する。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

2 年生以上が望ましいです。

【授業の形式】

【対面】演習。 セミナー、ディスカッションの重視。パワーポイント、ビデオ等を活用します。オンライン授業に際して、同時双方向での授業とともに、オンデマンド型の授業を予定しています。

【成績評価の要点①】

| 試験 | 小テスト等 | レポート | 発表・作品 | 出席率 | 授業への取組 |
|----|-------|------|-------|-----|--------|
| ○ | | ○ | | ○ | ○ |

【成績評価の要点②】

前期は課題図書によるレポート。後期は試験を実施する。

【授業展開と内容-前期】

- | | |
|---------------------------|-------------------------------|
| 1. 芸術の公共性？－社会システムと芸術創造の相克 | 8. マネジメント理論と実践1－マネジメントという概念 |
| 2. アート・マネジメントの特殊性と文化政策 | 9. マネジメント理論と実践2－組織の構造と変化 |
| 3. 芸術支援の理論的根拠－芸術と経済のジレンマ | 10. マネジメント理論と実践3－ミッション&意思決定 |
| 4. 文化政策の策定と意思決定の構造 | 11. マネジメント理論と実践4－モチベーションとグループ |
| 5. 「アーツカウンシル」というモデルとその変化 | 12. マネジメント理論と実践5－グレイト・グループ |
| 6. 日本の文化政策と公的助成制度 | 13. マネジメント理論と実践6－リーダーシップ |
| 7. 営利／非営利と公共性 | 14. カルチュラル・リーダーシップとアドヴォカシー |

【事前・事後学習-前期】

いま芸術をめぐる環境が大きく変化しています。新聞を読む習慣を身につけて下さい。芸術・芸術家と社会との関係性に着目していただきたいと思います。

【授業展開と内容-後期】

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 芸術と市場－アートのマーケティング | 2. 観客を創る／観客を育てる |
|----------------------|-----------------|

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 3.マーケティングとエデュケーション | 9.著作権と契約2—エンターテインメント産業の構造 |
| 4.芸術鑑賞教育を考える | 10.著作権と契約3—デジタル時代の著作権 |
| 5.障害者芸術の展開—インクルーシブとインテグレート | 11.著作権と契約4—実演家にとっての契約 |
| 6.アーティスト・サバイバル—芸術という労働 | 12.指定管理者制度と公立文化施設 |
| 7.アーティストの労働者性をめぐって—労災 | 13.基本法と劇場法 |
| 8.著作権と契約1—著作権と著作隣接権 | 14.総括—芸術家の仕事と使命 |

【事前・事後学習-後期】

いま芸術をめぐる環境が大きく変化しています。新聞を読む習慣を身につけて下さい。芸術・芸術家と社会との関係性に着目していただきたいと思います。

【オフィスアワー】

メールにてお問い合わせ下さい。

【教材】

- プリント配布。但し、前期レポート参考図書より、選択。P・ドラッカー『非営利組織の経営』(ダイヤモンド社)WR04-791
 C・ハンディ『もったい会社、もったい人生』(河出書房新社)WR04-798
 H・セイフター&P・エコノミー『オルフェウス・プロセス』(角川書店)WR04-790
 村上隆『芸術起業論』(幻冬舎)WR06-613
 J・バーンスタイン『芸術の売り方』(英治出版)WR05-091
 H・アビング『金と芸術』(Grambooks)WR04-988
 宮島喬『文化と不平等』(有斐閣)WR05-614
 TPNドラマ教育ライブラリー『青少年の未来とアートマネジメント』(シアタープランニングネットワーク)WR05-601
 マシュー・リーズン『子どもという観客』(晩成書房)
 大林剛郎『都市は文化でよみがえる』(集英社新書)
 西島千尋『クラシック音楽はなぜ鑑賞されるのか』(新曜社)

| | | | | | |
|-----------------------------------|--|----------|--|-------------|--|
| 444,445 比較文化論 α(前期), β(後期) | | | | | |
| 担当教員 | | 米田 潔弘 教授 | | 曜日時限 | |
| | | | | 月 2 時限 | |
| 実施キャンパス | | 調布 | | 単位 | |
| | | | | 各 2 単位 | |
| 実施キャンパス | | 調布 | | 対象年次 | |
| | | | | 学部 1 年～ | |

【授業の概要】

< 西欧キリスト教文化と日本 >

この講座では、歴史学、宗教学、文化人類学など様々な視点から、西欧キリスト教社会と日本の社会の文化をみていく。

前期は、キリシタン時代から幕末・明治・大正時代までの西欧と日本との出会いを中心に、後期は、西欧と日本における祭りや伝承、年中行事、生まれてから死ぬまでの人の一生の通過儀礼を軸に、西欧キリスト教と日本の文化を比較しながら考察していく。

【到達目標】

前期は、1549 年のザビエル来日から、秀吉の伴天連追放令、家康のキリシタン禁令による弾圧を経て、幕末明治期のパリ外国宣教会による再布教とカトリック信徒発見、そして明治新政府による岩倉具視使節団の派遣によってあらたに欧米との交流が活発になっていく過程をたどること、後期は、ヨーロッパと日本における伝統的な祭りや年中行事という「一年のサイクル」、誕生から子ども、青年へ成長し、恋愛と結婚して家族をつくり、その後年老い、死を迎える「ヒトの一生」をたどることによって、西

欧キリスト教社会と日本の社会の文化とをより深く理解することをめざす。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

特別な要件はありません。

【授業の形式】

【遠隔】講義 非同時型(オンデマンド動画)

【成績評価の要点①】

| 試験 | 小テスト等 | レポート | 発表・作品 | 出席率 | 授業への取組 |
|----|-------|------|-------|-----|--------|
| | | ○ | | ○ | ○ |

【成績評価の要点②】

毎回、授業について内容の理解とコメントを書いてもらいます。授業回数の3分の1以上の欠席がある場合は、原則として失格とします。

【授業展開と内容-前期】

- 1.はじめに: 西欧キリスト教と日本の交流の歩み
- 2.ザビエル来日から天正遣欧少年使節まで
- 3.16世紀に来日したパードレたちの日本人観
- 4.支倉六右衛門常長の慶長遣欧使節
- 5.キリシタン大名高山右近とその時代
- 6.キリシタン時代から潜伏時代へ: 高山右近、太田ジュリア、細川ガラシャ、ペトロ岐部カスイ、小笠原玄也
- 7.キリシタンのキリスト教理解
- 8.隠れキリシタンの信仰世界: 日本人の宗教観
- 9.隠れ念仏の世界: 日本人のこころを求めて
- 10.パリ外国宣教会の日本布教: 布教聖省とパリ外国宣教会
- 11.幕末明治のキリシタン: カトリック復活以後
- 12.岩倉具視使節団と西洋
- 13.明治の女子留学生と西洋: 津田梅子、幸田姉妹
- 14.幕末明治の横浜の文明開化

【事前・事後学習-前期】

各授業の事前・事後に60分程度の準備・復習を前提とする。

【授業展開と内容-後期】

- 1.はじめに: フランスのアナール派の社会史研究
- 子どもの社会史(1): 子ども期の発見
- 2.子どもの社会史(2): 日本の子育ての歩み
- 3.子どもから若者・娘へ
- 4.若者と娘の恋愛習俗
- 5.結婚の社会史
- 6.家族の社会史
- 7.女性の社会史(1)
- 8.女性の社会史(2)
- 9.病と医学の社会史(1)
- 10.病と医学の社会史(2)
- 11.病と信仰・病と祭り
- 12.ヨーロッパの祭りと年中行事
- 13.日本の祭りと年中行事
- 14.老いと死の社会史

【事前・事後学習-後期】

各授業の事前・事後に60分程度の準備・復習を前提とする。

【オフィスアワー】

随時メールで受け付けます。

【教材】

図書館の指定図書および講義中に紹介する。

446,447 日本国憲法 A α (前期 a),A α (前期 b)

| | | | |
|---------|----------|------|------------------|
| 担当教員 | 原口 佳誠 講師 | 曜日時限 | 金 1 時限 金 3 時限 |
| 実施キャンパス | 調布 | 単位 | 各 2 単位 |
| | | 対象年次 | 学部 1 年～ |

【授業の概要】

個人を尊重し、平和で民主的な社会を実現してゆこうとする日本国憲法は、日本社会の基礎となっています。この講義は、まず、法とは何か、憲法とは何か、という基本から出発し、人権保障について平易に解説します。教科書に沿った授業進行のみならず、時事的なニュースを多数取り入れ、ダイナミックな現代社会の視点から憲法のあり方を考えてゆく予定です。

* 日本国憲法Aは本年度に限り前期のみの開講となります。

【到達目標】

学生が、憲法の基礎知識を身につけ、社会におけるさまざまなケースで主体的に考える能力を養うことを目標にします。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

制限なし/特になし

【授業の形式】

【遠隔】講義

教員が授業動画を配信し、学生はそれを視聴します。授業は基本的にレジュメに従って進められます。

また、質問・感想等は、随時受け付けます。メールアドレスに送付してください。E-mail: haraguchi-yoshiaki@pl.tohomusic.ac.jp

【成績評価の要点①】

| 試験 | 小テスト等 | レポート | 発表・作品 | 出席率 | 授業への取組 |
|----|-------|------|-------|-----|--------|
| | | ○ | | | |

【成績評価の要点②】

成績評価はレポートとします。期末レポート1回を予定しています。提出は E-mail によるものとします。E-mail: haraguchi-yoshiaki@pl.tohomusic.ac.jp

【授業展開と内容-前期】

1.【 テーマ 】 ガイダンス—憲法とは何か

17 頁)を通読する。

【到達目標】 授業ガイダンスを行う。憲法とは何か、立憲主義とは何かを理解する。

4.【 テーマ 】 個人の尊重と幸福追求権

【到達目標】 個人の尊重と幸福追求権を理解する。

【学習課題】 レジュメ、ならびにテキストの該当箇所(1-2 頁)を通読する。

【学習課題】 レジュメ、ならびにテキストの該当箇所(20-27 頁)を通読する。

2.【 テーマ 】 憲法の歴史

5.【 テーマ 】 法の下での平等 (1)

【到達目標】 憲法と立憲主義の歴史、さらに大日本帝国憲法から日本国憲法成立に至る過程を理解する。

【到達目標】 法の下での平等を理解する。

【学修課題】 レジュメ、ならびにテキストの該当箇所(4-8 頁)を通読する。

【学習課題】 レジュメ、ならびにテキストの該当箇所(28-33 頁)を通読する。

3.【 テーマ 】 基本的人権—総論

6.【 テーマ 】 法の下での平等 (2)

【到達目標】 基本的人権の歴史と主体を理解する。

【到達目標】 法の下での平等を理解する。

【学習課題】 レジュメ、ならびに テキストの該当箇所(10-

【学習課題】 レジュメ、ならびにテキストの該当箇所(28-33 頁)を通読する。

7.【 テーマ 】 精神的自由権(1)

【到達目標】 思想・良心の自由、信教の自由を理解する。

【学習課題】 レジюме、ならびにテキストの該当箇所(34-41頁)を通読する。

8.【 テーマ 】 精神的自由権(2)

【到達目標】 表現の自由を理解する。

【学習課題】 レジюме、ならびにテキストの該当箇所(42-53頁)を通読する。

9.【 テーマ 】 人身の自由

【到達目標】 人身の自由を理解する。

【学習課題】 レジюме、ならびに テキストの該当箇所(60-67 頁)を通読する。

10.【 テーマ 】 経済的自由権・社会権、講義全体のまとめ

【到達目標】 経済的自由権・社会権を理解する。

【学習課題】 レジюме、ならびにテキストの該当箇所(54-59頁, 72-77 頁)を通読する。これまで扱ったテキストの該当箇所を通読する。

11.【 テーマ 】 人身の自由

【到達目標】 人身の自由を理解する。

【学習課題】 テキストの該当箇所を通読する。

12.【 テーマ 】 社会権

【到達目標】 社会権を理解する。

【学習課題】 テキストの該当箇所を通読する。

13.【 テーマ 】 人権保障のグローバル化

【到達目標】 人権保障のグローバル化を理解する。

【学習課題】 テキスト全体を通読し、復習する。

14.【 テーマ 】 授業内試験、全体のまとめ

【到達目標】 授業内試験を行い、授業全体のまとめを行う。

【学習課題】 テキスト全体のポイントを振り返り、理解する。

【事前・事後学習-前期】

授業は基本的にレジюмеに従って行われます。受講生は、テキストの該当範囲を読み、予習・復習する(各 30 分程度)ことが求められます。

各授業においては、レジюмеの予習・復習を心がけてください。また、参考書(『スタート憲法』)による自習も、学習効果を高める上で有効です。

【オフィスアワー】

授業内容の質問・感想等は、随時受け付けます。次のメールアドレスに送付してください。E-mail: yoshiaki@kanto-gakuin.ac.jp

【テキスト】

1.スタート憲法(第3版) 吉田仁美編 2020 年 ¥1,760 978-4792306687

備考:購入は必須ではありません。レジюмеを用いて授業を進めます。本書は、予習・復習の際に利用してください。

【教材】

憲法の入門書として、下記書籍を参考書とします。

- ・内山奈月＝南野森『憲法主義』(PHP 研究所、2014 年)
- ・水島朝補『18 歳からはじめる憲法』(法律文化社、第 2 版、2016 年)
- ・吉田仁美＝渡辺暁彦編『憲法判例クロニクル』(ナカニシヤ出版、2016 年)
- ・宍戸常寿編『18 歳から考える人権』(法律文化社、第 2 版、2020 年)

| | | | | | |
|-----------------------------------|----------|----|--------|------------------|---------|
| 448,449 日本国憲法 B α(前期 a),B α(前期 b) | | | | | |
| 担当教員 | 原口 佳誠 講師 | | 曜日時限 | 金 2 時限 金 4 時限 | |
| 実施キャンパス | 調布 | 単位 | 各 2 単位 | 対象年次 | 学部 1 年～ |

【授業の概要】

個人を尊重し、平和で民主的な社会を実現してゆこうとする日本国憲法は、日本社会の基礎となっています。この講義は、まず、法とは何か、憲法とは何か、という基本から出発し、さまざまな統治の仕組みを平易に解説します。教科書に沿った授業進行のみならず、時事的なニュースを多数取り入れ、ダイナミックな現代社会の視点から憲法のあり方を考えてゆく予定です。

* 日本国憲法Bは今年度に限り前期のみの開講となります。

【到達目標】

学生が、憲法の基礎知識を身につけ、社会におけるさまざまなケースで主体的に考える能力を養うことを目標にします。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

本学の「日本国憲法 A(A α ないし A β)」を既に履修していることが望ましく、履修していない場合は、なるべく同時に履修してください。

【授業の形式】

【遠隔】講義

教員が授業動画を配信し、学生はそれを視聴します。授業は基本的にレジュメに従って進められます。また、質問・感想等は、随時受け付けます。次のメールアドレスに送付してください。E-mail: haraguchi-yoshiaki@pl.tohomusic.ac.jp

【成績評価の要点①】

| 試験 | 小テスト等 | レポート | 発表・作品 | 出席率 | 授業への取組 |
|----|-------|------|-------|-----|--------|
| | | ○ | | | |

【成績評価の要点②】

成績評価はレポートとします。期末レポート1回を予定しています。提出は E-mail によるものとします。E-mail: haraguchi-yoshiaki@pl.tohomusic.ac.jp

【授業展開と内容-前期】

1.【 テーマ 】 ガイダンス—憲法とは何か

【到達目標】 授業ガイダンスを行う。憲法とは何か、立憲主義とは何かを理解する。

【学習課題】 テキストの該当箇所(1-2頁)を通読する。

2.【 テーマ 】 憲法の歴史

【到達目標】 憲法と立憲主義の歴史、さらに大日本帝国憲法から日本国憲法成立に至る過程を理解する。

【学習課題】 テキストの該当箇所(4-8頁)を通読する。

3.【 テーマ 】 憲法と法の支配

【到達目標】 憲法と法の支配の歴史と意義を理解する。

【学習課題】 テキストの該当箇所(82-85頁)を通読する。

4.【 テーマ 】 国民主権と選挙制度(1)

【到達目標】 国民主権と選挙制度を理解する。

【学習課題】 テキストの該当箇所(86-93頁)を通読する。

5.【 テーマ 】 国民主権と選挙制度(2)

【到達目標】 国民主権と選挙制度を理解する。

【学習課題】 テキストの該当箇所(86-93頁)を通読する。

6.【 テーマ 】 国会

【到達目標】 国会を理解する。

【学習課題】 テキストの該当箇所(94-99頁)を通読する。

7.【 テーマ 】 内閣

【到達目標】 内閣を理解する。

【学習課題】 テキストの該当箇所(100-105頁)を通読する。

8.【 テーマ 】 裁判所(1)

【到達目標】 裁判所を理解する。

【学習課題】 テキストの該当箇所(106-113頁)を通読する。

9.【 テーマ 】 裁判所(2)、財政・地方自治

【到達目標】 裁判所を理解する。

【学習課題】 テキストの該当箇所(106-113頁、78-79頁、18-19頁)を通読する。

10.～第13回

【 テーマ 】 平和主義・憲法改正の仕組み、授業全体の総括

【到達目標】 平和主義と憲法改正の仕組みを理解する。授業全体を理解する。

【学習課題】 テキストの該当箇所(116-125頁)を通読する。テキストの該当箇所のすべてを通読する。

14.【 テーマ 】 授業内試験、全体のまとめ

【到達目標】 授業内試験を行い、授業全体のまとめを行う。

【学習課題】 テキスト全体のポイントを振り返り、理解する。

【事前・事後学習-前期】

授業は基本的にレジュメに従って行われます。レジュメ(ならびにテキスト)を予習・復習する(各 30 分程度)ことが求められます。

【オフィスアワー】

質問・感想等は、随時受け付けます。次のメールアドレスに送付してください。E-mail: haraguchi-yoshiaki@pl.tohomusic.ac.jp

【テキスト】

1.スタート憲法(第3版) 吉田仁美編 2020年 ¥1,760 978-4792306687

備考:購入は必須ではありません。授業はレジュメを用いて進めます。

【教材】

憲法の入門書として、下記書籍を参考書とします。

- ・内山奈月＝南野森『憲法主義』(PHP 研究所、2014年)
- ・水島朝輔『18歳からはじめる憲法』(法律文化社、第2版、2016年)
- ・吉田仁美＝渡辺暁彦編『憲法判例クロニクル』(ナカニシヤ出版、2016年)
- ・宍戸常寿編『18歳から考える人権』(法律文化社、第2版、2020年)

| | | | | | |
|---|-----------|----|------|-------|-------|
| 451,452 美術史 α (前期), β (後期) | | | | | |
| 担当教員 | 大垣 美穂子 講師 | | 曜日時限 | 火 4時限 | |
| 実施キャンパス | 調布 | 単位 | 各2単位 | 対象年次 | 学部1年～ |

【授業の概要】

オンライン授業になります。それぞれの課題に合わせたドローイングを描きます。

【到達目標】

ドローイングで自分の世界を深めます。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

なし。

【授業の形式】

【遠隔】講義

最初にこれまでの作家の作品をスライドで見せます。その作家の作品を参考にしテーマに合わせてドローイングを描いてもらいます。

【成績評価の要点①】

| | | | | | |
|----|-------|------|-------|-----|--------|
| 試験 | 小テスト等 | レポート | 発表・作品 | 出席率 | 授業への取組 |
| | | | ○ | | |

【成績評価の要点②】

作品の提出内容で成績を決めます。出席は取りません。

質問等ある人は、私のメールアドレス info@mihoko-ogaki.com までご連絡ください。

動画のパスワードは、 tohomusic2020 です。

作品は、前期、後期の授業が終わったら提出してください。角0号の封筒を用意してください。実技試験などで学校に来た時

に事務局に提出してください。

学校に来られない学生は、送料は自己負担で下記宛に郵送してください。

〒182-0021 調布市調布ヶ丘 1-10-1 桐朋学園大学調布キャンパス 教務課

【授業展開と内容-前期】

- | | |
|--|-----------------------|
| 1. John Cage | 8. 瀧口修造 |
| 2. Paul Klee | 9. Miu 三村竜太郎 |
| 3. Werner Wittig | 10. William Kentridge |
| 4. Robert Rauschenberg, Richard Hamilton, 梅沢和木 | 11. 大野一雄 |
| 5. Max Ernst | 12. Tom Friedman |
| 6. Georges Seurat | 13. 塩田千春 |
| 7. Marc Chagall | 14. Kiki Smith |

【事前・事後学習-前期】

毎回与えられた課題を実施してくること。

【授業展開と内容-後期】

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1. 楽譜絵本 | 8. 快樂の園3 |
| 2. 人生絵巻物1 | 9. 快樂の園4 |
| 3. 人生絵巻物2 | 10. レタリングの配置やデザイン |
| 4. 人生絵巻物3 | 11. シュルレアリスム |
| 5. 人生絵巻物4 | 12. 創作絵本1 |
| 6. 快樂の園1 | 13. 創作絵本2 |
| 7. 快樂の園2 | 14. 創作絵本3 |

【事前・事後学習-後期】

毎回与えられた課題を実施してくること。

【オフィスアワー】

いつでもメールしてきてください。 info@mihoko-ogaki.com です。

| | | | | | |
|--|----------|----|--------|--------|---------|
| 453,454 哲学 α (前期), β (後期) | | | | | |
| 担当教員 | 木下 頌子 講師 | | 曜日時限 | 水 5 時限 | |
| 実施キャンパス | 調布 | 単位 | 各 2 単位 | 対象年次 | 学部 1 年～ |

【授業の概要】

現代の英米圏を中心に展開される「分析哲学」のスタイルに則り、「現在の私と一年前の私と同じ人であるのはなぜか」、「あるものが美しいという判断は主観的か、それとも客観的な正しさがあるのか」、「嘘をつくことは道徳的に許されうるのか」、「幸福な人生とはなにか」といった哲学の諸問題を考えます。

【到達目標】

哲学的な事柄を考える面白さを実感する。

それぞれの問題に対する既存の競合する立場を正確に理解し、さらに自ら考える作業を通じて論理的な思考を身につける。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

抽象的な事柄に対して好奇心をもって根気強く考え続けられること。

【授業の形式】

【遠隔】講義。 Google Classroom を用いて、動画・資料の配信、課題の提示を行ないます。

【成績評価の要点①】

| 試験 | 小テスト等 | レポート | 発表・作品 | 出席率 | 授業への取組 |
|----|-------|------|-------|-----|--------|
| | ○ | ○ | | ○ | ○ |

【成績評価の要点②】

各学期末のレポート(60%)と、通常回での課題への取組(40%)を総合して評価する。

【授業展開と内容-前期】

1. イントロダクション: 授業の進め方と哲学的議論について
2. 人の同一性の問題(1)
3. 人の同一性の問題(2)
4. 人の同一性の問題(3)
5. 人の同一性の問題(4)
6. 自由意志と決定論の問題(1)
7. 自由意志と決定論は両立するか(2)
8. 自由意志と決定論は両立するか(3)
9. 自由意志と決定論は両立するか(4)
10. これまでのふりかえりとレポートの書き方について
11. 何かが美しいという判断は客観的か(1)
12. 何かが美しいという判断は客観的か(2)
13. 何かが美しいという判断は客観的か(3)
14. 何かが美しいという判断は客観的か(4)

【事前・事後学習-前期】

授業前後に資料を読み直して理解の定着をはかること(目安 30-60 分)。

【授業展開と内容-後期】

1. 道徳的な善悪について考えるための準備
2. 嘘をつくことは道徳的に許容されるのか(1)
3. 嘘をつくことは道徳的に許容されるのか(2)
4. 嘘をつくことは道徳的に許容されるのか(3)
5. 差別はどんなときに不正であるのか(1)
6. 差別はどんなときに不正であるのか(2)
7. 差別はどんなときに不正であるのか(3)
8. 芸術作品の道徳的悪さはその芸術的価値に影響するか(1)
9. 芸術作品の道徳的悪さはその芸術的価値に影響するか(2)
10. 芸術作品の道徳的悪さはその芸術的価値に影響するか(3)
11. 幸福な人生とはなにか(1)
12. 幸福な人生とはなにか(2)
13. 幸福な人生とはなにか(3)
14. 幸福な人生とはなにか(4)

【事前・事後学習-後期】

授業前後に資料を読み直して理解の定着をはかること(目安 30-60 分)。

【オフィスアワー】

個別の質問は基本的にメールで受け付けますが、口頭でのやりとりを希望する場合はオンラインで対応可能ですので相談ください。

【教材】

教員の自作資料を配布します。

以下は授業内容をより深く理解するための参考文献ですので、関心に応じてぜひ参照してください。

- ・鈴木生郎・秋葉剛史・谷川卓・倉田剛『ワードマップ・現代形而上学: 分析哲学が問う、人・因果・存在の謎』、新曜社、2014年、ISBN-13 : 978-4788513662。
- ・ロバート・ステッカー(森功次訳)『分析美学入門』、勁草書房、2013年、ISBN-13 : 978-4326800537。
- ・児玉聡『実践・倫理学: 現代の問題を考えるために』、勁草書房、2020年、ISBN-13 : 978-4326154630。
- ・森村進『幸福とは何か: 思考実験で学ぶ倫理学入門』、筑摩書房、2018年、ISBN-13 : 978-4480683298。

455,456 体育講義・I α (前期), β (後期)

| | | | | | |
|---------|---------|------|--------|------|---------|
| 担当教員 | 小宮 暖 講師 | 曜日時限 | 木 3 時限 | | |
| 実施キャンパス | 調布 | 単位 | 各 2 単位 | 対象年次 | 学部 1 年～ |

【授業の概要】

音楽家は創造活動をする上で、さまざまな心と身体に関するチャレンジに出会います。音楽家にとって必要な「心身のスキル」はどのように育ててゆけばよいのでしょうか？ 本授業ではこのテーマに関する各種トピックを取り上げ、その具体的な鍛錬方法について実際に体験していきます。特に養育環境の影響で生じやすいさまざまな心の脆弱性(心の弱さ)がどのように音楽活動の上に影響してくるか、その関係を探り、それらの諸問題への解決の糸口を示唆します。講師は米国認定音楽療法士ですが、セラピストになる過程で受けた心身の訓練は、音楽家にも役立ちます。

体育講義とありますが、実際に身体を使ったワーク(各種の身体調整法、瞑想、呼吸法、音楽療法など)も盛り込んでいきます。

メンタルが弱いと感じる、パフォーマンスにおける過度な緊張がある、感情表現のブロック、身体の内側から音楽が湧いてこない、自分の音楽が好きじゃない、身体が固いなど、自分と音楽との関係において何らかの問題を抱えているという問題意識をお持ちの方におすすめします。テキストとして、小宮暖 著『芸術家のための分析的音楽療法 ころとからだの健康を探す旅』を用います。

【到達目標】

1. 音楽家の心と身体の諸問題を概観する。
2. それらの原因について学び、自己理解を深める。
3. 心と身体を整えるセルフケアのスキルを学ぶ

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

定員50名 学部1年～

前期と後期は同様の内容につき、いずれかの履修に限ります(両方履修は不可)。

【授業の形式】

【遠隔・講義】動画、文章配信、テキスト図書の購読による授業です。課題提出をもって出席とします。Google Classroom を用いますので、桐朋アカウントへの登録が必要です。

【成績評価の要点①】

| 試験 | 小テスト等 | レポート | 発表・作品 | 出席率 | 授業への取組 |
|----|-------|------|-------|-----|--------|
| | | ○ | | ○ | |

【授業展開と内容-前期】

1. ①非同時型
- ②オリエンテーション
- ③資料(準備中)
- ④履修希望の方は
tohotaiiku@gmail.com
にメールを送信してください。ご自身の送信元アドレスは
toho ドメインのもの(学籍番号@st.tohomusic.ac.jp)を使用
してください。
- ⑤メールの書き方: 件名【体育講義】、本文内容「学籍番号、

- お名前、専攻、履修希望とその理由を簡単に書いてください」
2. 音楽家の諸問題の概観
 3. 成育歴とこころの脆弱性1: パフォーマンス不安の症状
 4. 成育歴とこころの脆弱性2: パフォーマンス不安の原因
 5. 心身の安定の基盤を作る1(自律神経を整える)
 6. 心身の安定の基盤を作る2(セロトニンを増やす)
 7. 心身の安定の基盤を作る3(マインドフルネスについて)
 8. 自分の感情と向きあう

- 9.インナーチャイルドの探索
- 10.セルフコンパッション
- 11.思考習慣の管理1(ネガティブ思考の扱い方)

- 12.思考習慣の管理2(超自我の探索)
- 13.思考習慣の管理3(批判の扱い方)
- 14.まとめ

【事前・事後学習-前期】

動画の視聴、配信文書や指定図書を読み、指定する心身のスキルに関連するエクササイズを実践する(60分～90分)

【授業展開と内容-後期】

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 1.①非同時型 ②オリエンテーション ③資料(準備中) ④履修希望の方は tohotaiiku@gmail.com にメールを送信してください。ご自身の送信元アドレスは toho ドメインのもの(学籍番号@st.tohomusic.ac.jp)を使用 してください。 ⑤メールの書き方:件名【体育講義】、本文内容「学籍番号、 お名前、専攻、履修希望とその理由を簡単に書いてくださ い」 2.音楽家の諸問題の概観 3.成育歴とこころの脆弱性1:パフォーマンス不安の症状 | <ul style="list-style-type: none"> 4.成育歴とこころの脆弱性2:パフォーマンス不安の原因 5.心身の安定の基盤を作る1(自律神経を整える) 6.心身の安定の基盤を作る2(セロトニンを増やす) 7.心身の安定の基盤を作る3(マインドフルネスについて) 8.自分の感情と向きあう 9.インナーチャイルドの探索 10.セルフコンパッション 11.思考習慣の管理1(ネガティブ思考の扱い方) 12.思考習慣の管理2(超自我の探索) 13.思考習慣の管理3(批判の扱い方) 14.まとめ |
|---|---|

【事前・事後学習-後期】

動画の視聴、配信文書や指定図書を読み、指定する心身のスキルに関連するエクササイズを実践する(60分～90分)

【オフィスアワー】

ご質問やお問い合わせは、googleclassroom を通じて、または授業専用メール:tohotaiiku@gmail.com にて随時受け付けます。

【テキスト】

- 1.芸術家のための分析的音楽療法 こころとからだの健康を探す旅 小宮暖 2020年 ¥4,400 9784802099318
備考:プリント・オン・デマンド方式によるため、Amazon.jp のサイトのみで販売しています。(電子版もあります)

| | | | | | |
|-------------------------------------|--|-----------|--|-------------|--|
| 457,458 体育講義・II α(前期), β(後期) | | | | | |
| 担当教員 | | 伊澤 英紀 講師 | | 曜日時限 | |
| | | | | 木 5 時限 | |
| 実施キャンパス | | 単位 | | 対象年次 | |
| 調布 | | 各 2 単位 | | 学部 1 年～ | |

【授業の概要】

現代人は、様々なストレスを感じながら日常生活を送っています。この現状を打開する一歩として人間のからだの特徴を学習し、ストレスの因子から及ぼす悪影響を理解する。また、からだを動かすことに対しての身体的・精神的そして社会的に及ぼすメリット・デメリットを明らかにし、健全な生活を営む手段のきっかけを掴んで欲しい。

【到達目標】

人間のからだの機能・構造を理解し、自分自身のからだと対話することにより、健康の維持・増進に好ましい生活を送れるように努める。また、様々なストレスや健康を害する因子を探求し、現状を打開する一つの手段として、考え方や取り組み方を学習するきっかけを担えるようにする。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

履修人数:最大 30 名。この講義を前期に履修した学生は、後期の履修は不可とする。

【授業の形式】

【遠隔】講義にて授業を展開する

【成績評価の要点①】

| 試験 | 小テスト等 | レポート | 発表・作品 | 出席率 | 授業への取組 |
|----|-------|------|-------|-----|--------|
| | | ○ | ○ | ○ | ○ |

【成績評価の要点②】

成績に関しては、出席・欠席・遅刻の回数やレポートの内容、授業への取り組みなど、総合的に評価する。

【授業展開と内容-前期】

1.4月8日(木) 5時限

2021年度 前期 第1回目 オリエンテーション(授業概要)

本授業は、全学年履修可能です(前期に履修した学生は履修不可)

質問がある学生は、本授業担当の伊澤へ連絡を下さい。

伊澤のメールアドレス r_rizawa@ybb.ne.jp

2.4月15日(木) 5時限

感染症①

3.4月22日(木) 5時限

感染症②

4.5月6日(木) 5時限

健康の捉え方

5.5月13日(木) 5時限

心身相関

6.5月20日(木) 5時限

欲求とストレス①

7.5月27日(木) 5時限

欲求とストレス②

8.6月3日(木) 5時限

自己分析

9.6月10日(木) 5時限

メンタルトレーニング

10.6月17日(木) 5時限

疲労と休養

11.6月24日(木) 5時限

生活リズムと睡眠

12.7月1日(木) 5時限

運動における技術と技能および体力

13.7月8日(木) 5時限

運動における技能の上達と練習

14.7月22日(木) 5時限

まとめ 前期振り返り

【事前・事後学習-前期】

授業内で指示した内容を予習してくること。原則として、授業で出す課題等によって復習を行うこと。(目安各60分)

【授業展開と内容-後期】

1.2021年度 後期 第1回目 オリエンテーション(授業概要)

9月23日(木) 5時限

本授業は、全学年履修可能です(前期に履修した学生は履修不可)

質問がある学生は、本授業担当の伊澤へ連絡を下さい。

伊澤のメールアドレス r_rizawa@ybb.ne.jp

2.9月30日 感染症①

3.10月7日 感染症②

4.10月14日 健康の捉え方

5.10月21日 心身相関

6.10月28日 欲求とストレス①

7.11月4日 欲求とストレス②

8.11月11日 自己分析

9.11月18日 メンタルトレーニング

10.11月25日 疲労と休養

11.12月2日 生活リズムと睡眠

12.12月9日 運動における技術と技能および体力

13.1月6日 運動における技能の上達と練習

14.1月13日 まとめ・後期振り返り

【事前・事後学習-後期】

授業内で指示した内容を予習してくること。原則として、授業で出す課題等によって復習を行うこと。(目安各60分)

【オフィスアワー】

木曜日 3・4 限後 仙川キャンパス 体育センター1階 教員室／金曜日 3 限後 仙川キャンパス 体育センター1階 教員室

| | | | | | |
|---|----------|----|--------|--------|---------|
| 459,460 体育実技音楽家のためのトータルコンディショニング α(前期), β(後期) | | | | | |
| 担当教員 | 野上 圭太 講師 | | 曜日時限 | 火 2 時限 | |
| 実施キャンパス | 調布 | 単位 | 各 1 単位 | 対象年次 | 学部 1 年～ |

【授業の概要】

＜身体リセット～体力強化＞

疲労や痛みがあると、脳から筋肉への神経伝達が阻害されて動きが鈍ります。まずは柔らかく、そして関節を大きく動かすことが可能になるように身体をリセットします。動く身体を手に入れたら、音楽の精度も高まることでしょう。そして長時間、コンディションを保持するためにエクササイズで体力強化(スタミナ)を図ります。

【到達目標】

疲労しにくく(スタミナ)、身体を思い通りに動かすことができれば(器用)、高度な長時間練習もこなすことができます。その練習がステージにつながるはずです。音楽に必要な身体づくりを、通年でコンディションを良好にしていきます。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

【対面授業】実技 で実施。

新活動様式のため、定員前期:40 名 後期:20 名

*世の中の動向により、対面授業が中止になった場合は遠隔授業に切り替えます。その際の方法は、「Zoom」を予定していません。

*夏期講習会やオリンピック開催直前の混雑を避けるため、第 14 週目(7/20)は【遠隔】講義&実技 で実施予定。

【授業の形式】

【対面】演習。 要所で解説を入れながら、実技を中心に進めていきます。

【成績評価の要点①】

| 試験 | 小テスト等 | レポート | 発表・作品 | 出席率 | 授業への取組 |
|----|-------|------|-------|-----|--------|
| | | ○ | | ○ | ○ |

【授業展開と内容-前期】

1.<オリエンテーション>

授業説明、スクリーニング序章

2.<スクリーニング before>

現在の自分の身体状態(主に筋肉柔軟性、関節可動性)をチェックします。

3.<肩こり>

トラブルが多い首肩、筋肉を弛めて伸ばして痛みを軽減させていきます。

4.<腰痛>

腰部を挟んでいる胸部と骨盤、その周辺筋肉を緩めて伸

ばしていきます。

5.<上肢>

演奏や発声にとっても重要な上半身の姿勢、楽器に触れる指、繊細かつ疲労しやすいので丁寧に筋肉を弛めていきます。キーポイントは肩甲骨、動きを獲得します。

6.<下肢>

大きい筋肉が多くある脚に特化して筋肉を弛めて、脚が軽く楽に動かせるようにしていきます。

7.<肩甲骨からのリラクゼーション>

緩んだ筋肉を使って、肩の関節を柔らかく大きく動かしてい

きます。

8.<骨盤からのリラクゼーション>

緩んだ筋肉を使って、股関節を柔らかく大きく動かしていきます。

9.<上半身トレーニング>

正しい肩甲骨の使い方、上半身の筋力トレーニングを実施します。特に肩の力み(肩甲骨が持ち上がった状態)を予防改善するために肩甲骨を下げる筋力をつけていきます。

10.<下半身トレーニング>

正しい骨盤の動きで、反り腰にならないように下半身の筋力トレーニングを実施します。

11.<上下半身連動性>

【事前・事後学習-前期】

授業日以外でも実施しないと体は変化しませんので、筋膜リリースを毎日 10 分程度実施しましょう。

【授業展開と内容-後期】

1.<オリエンテーション>

授業説明

2.<フィジカルスクリーニング>

フィジカルスクリーニング(before)を実施し、現状(体力)を把握します。

3.<身体調整>

全身の筋肉を弛め、関節可動域を確保します。

4.<レジスタンストレーニングⅠ>

全身筋力トレーニングします。

5.<心臓血管系トレーニングⅠ>

スタミナ養成のために、心拍数を上げるエクササイズ(種目サーキットトレーニング)を実施します。

6.<心臓血管系トレーニングⅡ>

スタミナ養成のために、心拍数を上げるエクササイズ(ショートシャトルラン)を実施します。

7.<レジスタンストレーニングⅡ>

全身筋力トレーニングします。

【事前・事後学習-後期】

授業日以外でも実施しないと体は変化しませんので、筋膜リリースを毎日 10 分程度実施しましょう。さらに余裕があれば、授業内容(エクササイズ)を実施してみましよう！！

【オフィスアワー】

火曜日 2限後 教室及び教員室

【教材】

必要に応じてプリント資料配布。その他、必要に応じて用意、指示する。

【その他】

動きやすい服装、運動シューズ、フェイスタオル、水分、マット(バスタオル等で代用可)を持参。その他、必要に応じて授業で

普段の生活では、上半身と下半身はともに連動して動きません。その仕組みを理解して、正しくきれいな歩き方を実践します。さらに上下半身の連動性を高めるエクササイズで、脳-神経伝達を高めめます。

12.<全身のリラクゼーション>

全身がリラックスできるように、柔らかく体を動かしていきます。

13.<スクリーニング after>

スクリーニング(after)を実施し、before と身体状態変化を比較します。

14.<学習内容のまとめ> *【遠隔】同時双方向型授業(ZOOM)

8.<心臓血管系トレーニングⅢ>

スタミナ養成のために、心拍数を上げるエクササイズ(起き上がり系サーキットトレーニング)を実施します。

9.<心臓血管系トレーニングⅣ>

スタミナ養成のために、心拍数を上げるエクササイズ(ミドルシャトルラン)を実施します。

10.<レジスタンストレーニングⅢ>

全身筋力トレーニングします。

11.<心臓血管系トレーニングⅤ>

スタミナ養成のために、心拍数を上げるエクササイズ(ジャンプ系サーキットトレーニング)を実施します。

12.<トリートメント>

トレーニングで疲労した筋肉をセルフケアします。

13.<フィジカルスクリーニング>

フィジカルスクリーニング(after)を実施し、before と体力変化を比較します。

14.<学習内容のまとめ>

その都度指示する。

* 対面授業の体育実技のため、遠隔希望の学生は受け入れ不可とする。(大学として対面授業禁止となった場合はその限りではなく、授業自体を遠隔へと移行する)

| | | | | | |
|--|----|----|--------|------|---------|
| 461,462 体育実技パフォーマンスアップ骨体操 α(前期), β(後期) | | | | | |
| 担当教員 遠藤 記代子 講師 | | | 曜日時限 | | 火 4 時限 |
| 実施キャンパス | 仙川 | 単位 | 各 1 単位 | 対象年次 | 学部 1 年～ |

【授業の概要】

日本古来から伝わる【ナンバ(古武術)】の身体使いの知恵を用いて、関節のお手入れ法や賢い心と体の使い方を学びます。体操によって心を変えること、また、心のあり方によって体の状態を変えられることを知りますと、いつでも自身を最高のパフォーマンス状態へ導くことができます。後期では更に、クラシック音楽の靈性に繋がりがやすくするため、西洋的な文化・思想・哲学を所作を通して体験していき、演奏の質を高める良い動きを学びます。授業で扱う動きは、感性が良くなり、思考力・意志の力・生命力・運動神経・聴力をアップさせ、記憶力・集中力・創造力・発想力・コミュニケーション力、また、音楽における構成力や閃きの力を高めます。

【到達目標】

- ・己の心と体を観察し、自ら「心技体」のバランスを取れるようになる
- ・体の不調のある程度は、自分で治せるようになる
- ・自分の得意なことを見極め、その能力を自分自身で伸ばしていけるようになる
- ・音楽に対する自分の哲学を持つ

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

感染予防対策を講じたうえで、仙川キャンパス 402 室にて【対面授業】を実施します。

【授業の形式】

【対面】による実技形式。講義と実技(理論と実践)の混合ワークショップ形式。

感染予防対策を講じたうえで、仙川キャンパス 402 室にて【対面授業】を実施します。

(7 月 20 日は、【動画配信授業】となります。)

※受講者は、授業前後の手洗いおよびマスクの着用を徹底して下さい。

※感染状況などにより学期途中で対面授業が実施できなくなった場合は、シラバスを使用した録画配信授業に切り替えます。

シラバスから授業内容を発信するので、必ず確認するようにして下さい。

【成績評価の要点①】

| | | | | | |
|----|-------|------|-------|-----|--------|
| 試験 | 小テスト等 | レポート | 発表・作品 | 出席率 | 授業への取組 |
| | | | | ○ | ○ |

【成績評価の要点②】

成績評価は主に出席率や授業態度、課題の提出状況およびその内容を総合的に判断して行う。

【授業展開と内容-前期】

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 1.ナンバの基礎～自分を知る①筆跡診断 | 間帯 |
| 2.ナンバの基礎～自分を知る②睡眠の質と得意な活動時 | 3.ナンバの基礎～自分を知る③欲求の段階と有意な感覚 |

4.ナンバの基礎～④快と不快

5.ナンバ 12 の骨体操と7つのムーブメント①

6.ナンバ 12 の骨体操と7つのムーブメント②

7.ナンバ 12 の骨体操と7つのムーブメント③

8.手指・足指、関節のお手入れ

9.皮膚感覚

10.「気」を下げる

11.本番に強くなる、メンタルアップ筆跡トレーニング

12.青の瞑想①

13.椅子と上手く付き合う

14.振り返り、リクエスト受付

【事前・事後学習-前期】

毎日5分+週に1日30分程度、体操を通して自身の体と心に向き合ってみてください。半年もすれば確実な変化を感じられます。

【授業展開と内容-後期】

1.ナンバ歩き～流れの良い身体を作る①思考・感情・意志

2.ナンバ歩き～流れの良い身体を作る②〈立つ〉は〈立ち続ける〉という動作

3.ナンバ歩き～流れの良い身体を作る③呼吸するということ

4.筆跡診断と筆跡トレーニング

5.母音の響きを味わう

6.「心」を取り出す

7.子音の所作を味わう

8.直線の動き

9.曲線の動き

10.音程の所作を味わう

11.ズムの所作を味わう、メロディーを造形する

12.青の瞑想

13.メンタルアップ筆跡トレーニング

14.振り返り、リクエスト受付

【事前・事後学習-後期】

毎日5分+週に1日30分程度、体操を通して自身の体と心に向き合ってみてください。半年もすれば確実な変化を感じられます。

【オフィスアワー】

火曜日の授業のある日、授業終了後から17時くらいまで。402室または仙川キャンパス体育教員室等にて。

演奏動画などを送っていただき、動画でお返事することもあります。

その他の方法は授業内で指示します。

【テキスト】

1.みるみる音が変わる！ヴァイオリン骨体操 矢野龍彦、遠藤記代子、共著 2017年 ¥2,035 9784276144149

【教材】

必要に応じてプリント配布

【その他】

服装:動きやすく、汗をかいても良いもの。スカート不可。

持ち物:汗拭きタオル、水、回により楽器や小筆ペンが必要。授業時にその都度指示する。

| | | | | | |
|--|----------|----|--------|--------|---------|
| 463,464 体育実技音楽家のための身体トレーニング α(前期), β(後期) | | | | | |
| 担当教員 | 荒巻 由紀 講師 | | 曜日時限 | 月 2 時限 | |
| 実施キャンパス | 仙川 | 単位 | 各 1 単位 | 対象年次 | 学部 1 年～ |

【授業の概要】

本授業の目的は、

①基本的な身体構造(しくみ)とその機能(はたらき)を理解し、イメージすること、
 ②①を踏まえて自分の身体をイメージ通りに動かすと同時に、イメージ通りに動く身体を目指すこと、である。
 その手段として、ボディ・マッピングやボディコンディショニング、スポーツ、ダンス、武術、格闘技、ナンバ的動作等における多様な身体操作法を用いる。

上記の目的は、音楽家・演奏家である皆さんが、理想のパフォーマンスを目指す上で重要なことだと思います。

【到達目標】

1. 普段あたり前のように存在する自分の身体を、知的かつ感覚的に捉え直す。
2. 1を踏まえて身体意識を強化することで、心身に変化をもたらし、あらゆるパフォーマンスの質を向上させる。
3. 2に関する工夫を各自が自律して永続的に続け、物事の本質や人間としての豊かさを追求することを楽しむ。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

本授業は、感染予防対策を講じたうえで、調布キャンパス C008 室にて【対面授業】を実施します。

※履修制限数は前後期それぞれ 40 名です。制限人数を超える場合は、前後期初回対面オリエンテーションにて人数調整の抽選(教職必修の 4 年生を優先)を行います。

【授業の形式】

本授業は、感染予防対策を講じたうえで、調布キャンパス C008 室にて【対面授業】を実施します。

講義と実技(理論と実践)の混合ワークショップ形式。学期末にはショートプレゼンテーションを予定しています。

※受講者は、授業前後の手洗いおよびマスクの着用を徹底して下さい。

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対面授業が一斉中断した場合は、GoogleClassroom によるオンライン授業に切り替えます。詳細は初回オリエンテーションにて説明します。

【成績評価の要点①】

| 試験 | 小テスト等 | レポート | 発表・作品 | 出席率 | 授業への取組 |
|----|-------|------|-------|-----|--------|
| | | | ○ | ○ | ○ |

【成績評価の要点②】

成績評価は、出席率や受講態度、ショートプレゼンテーションの内容などを総合的に判断して行う。

【授業展開と内容-前期】

- | | |
|--|---|
| 1.4月5日(月)※対面授業 前期初回オリエンテーション 履修者が40名を超える場合は、人数調整の抽選を行います。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対面授業が一斉中断した場合は、GoogleClassroomによるオンライン授業に切り替えます。 | 7.5月24日(月)※対面授業 「イメージ通りの姿勢・動作の習得③(バランス)」 |
| 2.4月12日(月)※対面授業 「身体イメージの書き換え」 | 8.5月31日(月)※対面授業 「イメージ通りの姿勢・動作の習得④(関節の捉えなおし)」 |
| 3.4月19日(月)※対面授業 「身体イメージの書き換え」 | 9.6月7日(月)※対面授業 「イメージ通りの姿勢・動作の強化①(背骨)」 |
| 4.4月26日(月)※対面授業 「安定の捉えなおし」「身体はぐしと呼吸」 | 10.6月14日(月)※対面授業 「イメージ通りの姿勢・動作の強化②(骨盤～股関節など)」 ショートプレゼンテーション |
| 5.5月10日(月)※対面授業 「イメージ通りの姿勢・動作の習得①(Nポジション)」 | 11.6月21日(月) 「イメージ通りの姿勢・動作の強化③(肩甲骨など)」 「全身における力の導線」 ショートプレゼンテーション |
| 6.5月17日(月)※対面授業 「イメージ通りの姿勢・動作の習得②(体癖の修正)」 | 12.6月28日(月)※対面授業 「局所運動から全身運動へ①前後②左右」 ショートプレゼンテーション |
| | 13.7月12日(月)※対面授業 |

「局所運動から全身運動へ③上下④前面後面」

ショートプレゼンテーション

14.7月19日(月)※遠隔授業の予定

「局所運動から全身運動へ⑤螺旋」

ショートプレゼンテーション

【事前・事後学習-前期】

授業を振り返り、自分の姿勢や動作に関する問題点や課題を認識し、日常の中で心身の自己調整を実践する。その過程で生じた疑問点を次回授業までに整理しておくこと。(目安30-60分)

【授業展開と内容-後期】

1.9月20日(月)

後期初回オリエンテーション ※対面授業

履修者が40名を超える場合は、人数調整の抽選を行います。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対面授業が一斉中断した場合は、GoogleClassroomによるオンライン授業に切り替えます。

2.9月27日(月)※対面授業

「身体イメージの書き換え」

3.10月4日(月)※対面授業

「身体イメージの書き換え」

4.10月18日(月)※対面授業

「安定の捉えなおし」「身体ほぐしと呼吸」

5.10月25日(月)※対面授業

「イメージ通りの姿勢・動作の習得①(Nポジション)」

6.11月1日(月)※対面授業

「イメージ通りの姿勢・動作の習得②(体癖の修正)」

7.11月8日(月)※対面授業

「イメージ通りの姿勢・動作の習得③(バランス)」

8.11月15日(月)※対面授業

「イメージ通りの姿勢・動作の習得④(関節の捉えなおし)」

9.11月22日(月)※対面授業

「イメージ通りの姿勢・動作の強化①(背骨)」

10.11月29日(月)※対面授業

「イメージ通りの姿勢・動作の強化②(骨盤～股関節など)」

11.12月6日(月)※対面授業

イメージ通りの姿勢・動作の強化③(肩甲骨など)

12.12月13日(月)※対面授業

「局所運動から全身運動へ①前後②左右」

ショートプレゼンテーション

13.1月17日(月)※対面授業

「局所運動から全身運動へ③上下④前面後面」

ショートプレゼンテーション

14.1月24日(月)※対面授業

「局所運動から全身運動へ⑤螺旋」

ショートプレゼンテーション

【事前・事後学習-後期】

授業を振り返り、自分の姿勢や動作に関する問題点や課題を認識し、日常の中で心身の自己調整を実践する。その過程で生じた疑問点を次回授業までに整理しておくこと。(目安30-60分)

【オフィスアワー】

木曜 14:30~15:30 体育センター1階教員室

【その他】

服装については開講時に説明する。

※本授業に関する問い合わせは、y-aramaki@tohomusic.ac.jp へ、各自の桐朋ドメインアドレスから送るようにしてください。

| | | | | | |
|-----------------------------------|----------|----|------|-------|-------|
| 465,466 体育実技心身コントロール α(前期), β(後期) | | | | | |
| 担当教員 | 秦 江里奈 講師 | | 曜日時限 | 火 5時限 | |
| 実施キャンパス | 調布 | 単位 | 各1単位 | 対象年次 | 学部1年～ |

【授業の概要】

<音楽家のための心身コントロール>自分自身のことは意外にも分からないことばかりです。ましてや自分の脳部位、骨や関節、心の中など、見て確認することは不可能であり、認識すら定かではありません。この授業では①脳科学的視点から見る演奏について②メンタル強化③ナンバ術による自己の快・不快の認知と演奏時の理想の身体の使い方、骨と関節を知る④表現について、など、まずは自分自身と対話出来るよう上記の項目を追及していきます。

【到達目標】

授業テーマ①②③④は演奏者にとって全ての要素が関連しあっているものです。授業終盤での試演会にて、半期で多少なりとも様々なことを認識して演奏しているかどうか。練習、演奏による身体の痛みがある学生の改善がみられるかどうか。緊張時の自分の状態の分析を踏まえて、今後のためその改善方法を見いだせるかどうか。セルフコントロールの向上が見られると幸いです。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

特になし

【授業の形式】

Google クラウドに秦の授業録画動画の URL を載せます。それをご覧になり Google フォームを使っての課題提出にて出席となります。ただし、第1回目は調布校舎、対面で行います。第10回、第11回目、(12回目、13回目、14回目、未定)も対面でみなさんの試験曲の試演会を教室で行う予定です。試験日、参加人数、状況により変動する場合がございます。(対面に参加しない学生は Google フォームの課題提出にて出席扱いになります。)履修希望者はポータルサイト上の一覧表より、この授業のクラスコード、もしくはメールアドレスを確認し、そこに登録してください。または担当教員に直接メールをして履修の意思表示をしてください。なおこの授業は半期で完結です。

【成績評価の要点①】

| 試験 | 小テスト等 | レポート | 発表・作品 | 出席率 | 授業への取組 |
|----|-------|------|-------|-----|--------|
| | | | ○ | ○ | ○ |

【授業展開と内容-前期】

- | | |
|--|--|
| 1.対面授業 オリエンテーションと自己紹介 動画配信 脳のおはなし第1回目(N01,No2 大脳の概要、ゲーム脳、脳梁、他) | No.1 8.遠隔授業 動画配信 潜在意識「ゾーンにはいるとは」 No.2 |
| 2.遠隔授業 脳のおはなし第2回目動画配信 (No1,No2 音がどのようにして耳につたわるか、他の動物との比較他) | 9.遠隔授業 動画配信 ナンバ術による心身コントロール (ナンバ術の概要と自己との対話へのヒント) |
| 3.遠隔授業 脳のおはなし第3回目動画配信(脳に伝わった音楽がどのような作業をして認識するのか 「脳はオーケストラ」「譜読み、仕上げ、暗譜時の脳のはたらきを知る」) | 10.対面授業 試演会 身体の動きの視点から教員のアドバイス 動画配信 ナンバ術 実践動画 No.1「12の骨体操」 No.2「7つのムーブメント」 No.3「音楽付き7つのムーブメント」 |
| 4.遠隔授業 脳のおはなし第4回目動画配信(脳に伝わった音楽がどのような作業をして認識するのか 「初見、即興演奏時の脳のはたらきを知る」) | 11.対面授業 試演会 身体の動きの視点から教員のアドバイス 動画配信 骨と関節を知る N0.1 |
| 5.遠隔授業 動画配信 楽観脳と悲観脳 N0.1 と No.2 脳内物質の働き。簡単な自己分析テストを交えながら、より有意義な人生を歩むための心のあり方を探る | 12.対面授業未定 試演会 身体の動きの視点から教員のアドバイス 動画配信 骨と関節を知る N0.2 |
| 6.遠隔授業 動画配信 楽観脳と悲観脳 N0.3 と No.4 脳内物質の働き。簡単な自己分析テストを交えながら、より有意義な人生を歩むための心のあり方を探る | 13.対面授業未定 試演会 教員のアドバイス 動画配信 動きへの改善案 |
| 7.遠隔授業 動画配信 潜在意識「ゾーンにはいるとは」 | 14.対面授業未定 試演会 教員のアドバイス |

【事前・事後学習-前期】

授業動画を視聴し課題の Google フォームに期日まで提出のこと。動画内での自己分析テスト、自分歴、目標設定などは必ず実践のこと。(目安15-60分程度)

【授業展開と内容-後期】

- 1.対面授業 オリエンテーションと自己紹介
動画配信 脳のおはなし第1回目(N01,No2 大脳の概要、ゲーム脳、脳梁、他)
- 2.遠隔授業 脳のおはなし第2回目動画配信 (No1,No2 音がどのようにして耳につたわるか、他の動物との比較他)
- 3.遠隔授業 脳のおはなし第3回目動画配信(脳に伝わった音楽がどのような作業をして認識するのか 「脳はオーケストラ」「譜読み、仕上げ、暗譜時の脳のはたらきを知る」)
- 4.遠隔授業 脳のおはなし第4回目動画配信(脳に伝わった音楽がどのような作業をして認識するのか 「初見、即興演奏時の脳のはたらきを知る」)
- 5.遠隔授業 動画配信 楽観脳と悲観脳 N0.1 と No.2 脳内物質の働き。簡単な自己分析テストを交えながら、より有意義な人生を歩むための心のあり方を探る
- 6.遠隔授業 動画配信 楽観脳と悲観脳 N0.3 と No.4 脳内物質の働き。簡単な自己分析テストを交えながら、より有意義な人生を歩むための心のあり方を探る
- 7.遠隔授業 動画配信 潜在意識「ゾーンにはいるとは」 No.1
- 8.遠隔授業 動画配信 潜在意識「ゾーンにはいるとは」 No.2
- 9.遠隔授業 動画配信 ナンバ術による心身コントロール (ナンバ術の概要と自己との対話へのヒント)
- 10.対面授業 試演会 身体の動きの視点から教員のアドバイス
動画配信 ナンバ術 実践動画 No.1「12の骨体操」 No.2 「7つのムーブメント」 No.3「音楽付き7つのムーブメント」
- 11.対面授業 試演会 身体の動きの視点から教員のアドバイス
動画配信 骨と関節を知る N0.1
- 12.対面授業未定 試演会 身体の動きの視点から教員のアドバイス
動画配信 骨と関節を知る N0.2
- 13.対面授業未定 試演会 教員のアドバイス
動画配信 動きへの改善案
- 14.対面授業未定 試演会 教員のアドバイス
動画配信 ナンバ式のいろいろ まとめ

【事前・事後学習-後期】

授業動画を視聴し課題の Google フォームに期日まで提出のこと。動画内での自己分析テスト、自分歴、目標設定などは必ず実践のこと。(目安15-60分程度)

【オフィスアワー】

質問は Google クラブルーム、Google フォームのアンケート欄、もしくは教員宛てにメールで連絡をしてください。

| | | | | | |
|---|----------|-----------|-------------|-------------|---------|
| 467,468 体育実技骨盤・肩甲骨からのリラクゼーション α(前期), β(後期) | | | | | |
| 担当教員 | 阿部 史佳 講師 | | 曜日時限 | 月 4 時限 | |
| 実施キャンパス | 調布 | 単位 | 各 1 単位 | 対象年次 | 学部 1 年～ |

【授業の概要】

全身がリラックスし、最も負担の無い状態がいわゆる「良い姿勢」です。日常生活での何気ない癖や体の使い方が要因となり姿勢が悪くなると、首こり肩こり腰痛だけでなく疲れやすく太りやすくなり、様々なパフォーマンスの低下に繋がります。本講座では、骨盤と肩甲骨の位置に重きを置き、全身のゆがみをリセットするストレッチを行います。姿勢改善はもちろん効率良く体

を動かさ、心身ともにリラックスできる方法を学びます。

【到達目標】

「骨盤を立てる」を体得すること。

骨盤・肋骨・肩甲骨の正しい位置を体得し、良い姿勢を作れ保持できるようになること。

自分で全身リセットできるようになること。

それが演奏のパフォーマンスアップと大きく関係していると実感できるようになること。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

履修人数の上限を 25 名とします。自身の体の癖(肩こりしやすい、骨盤が歪んでいる、右足の方が長い等)を把握しておくこと。

【授業の形式】

【対面】演習

【成績評価の要点①】

| 試験 | 小テスト等 | レポート | 発表・作品 | 出席率 | 授業への取組 |
|----|-------|------|-------|-----|--------|
| | | | | ○ | ○ |

【授業展開と内容-前期】

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1.【オリエンテーション】 | 【首・肩・肩甲骨・肋骨ストレッチ】 |
| 2.【良い姿勢とは(姿勢チェック)】 | 8.【首・肩・肩甲骨・肋骨ストレッチ】 |
| 【ストレッチ実践】 | 【上半身と下半身の連動<基礎>】 |
| 3.【骨盤を立てるために】 | 9.【上半身と下半身の連動<基礎>】 |
| 【骨盤を立てるために～腸腰筋～】 | 【上半身と下半身の連動<応用①>】 |
| 【骨盤矯正ストレッチ】 | 10.【上半身と下半身の連動<応用①>】 |
| 4.【骨盤矯正ストレッチ】 | 【上半身と下半身の連動<応用②>】 |
| 【前鋸筋と体幹・肩の関係性】 | 11.【上半身と下半身の連動<応用②>】 |
| 5.【前鋸筋と体幹・肩の関係性】 | 【骨盤を立てるトレーニング】 |
| 【骨盤矯正ストレッチ～レベルアップ～】 | 12.【骨盤を立てるトレーニング】 |
| 6.【股関節ストレッチ】 | 【全身連動リラックスムーブメント】 |
| 【骨盤矯正ストレッチ～レベルアップ②～】 | 13.【全身連動リラックスムーブメント】 |
| 【首・肩まわりのストレッチ】 | 【姿勢チェック】 |
| 7.【首・肩まわりのストレッチ】 | 14.まとめ |

【事前・事後学習-前期】

毎回授業で習った事を必ず各自で復習し、生活の中に取り入れていくこと。

【授業展開と内容-後期】

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1.【オリエンテーション】 | 【骨盤矯正ストレッチ～レベルアップ～】 |
| 2.【良い姿勢とは(姿勢チェック)】 | 6.【股関節ストレッチ】 |
| 【ストレッチ実践】 | 【骨盤矯正ストレッチ～レベルアップ②～】 |
| 3.【骨盤を立てるために】 | 【首・肩まわりのストレッチ】 |
| 【骨盤を立てるために～腸腰筋～】 | 7.【首・肩まわりのストレッチ】 |
| 【骨盤矯正ストレッチ】 | 【首・肩・肩甲骨・肋骨ストレッチ】 |
| 4.【骨盤矯正ストレッチ】 | 8.【首・肩・肩甲骨・肋骨ストレッチ】 |
| 【前鋸筋と体幹・肩の関係性】 | 【上半身と下半身の連動<基礎>】 |
| 5.【前鋸筋と体幹・肩の関係性】 | 9.【上半身と下半身の連動<基礎>】 |
| | 【上半身と下半身の連動<応用①>】 |

10.【上半身と下半身の連動<応用①>】

【上半身と下半身の連動<応用②>】

11.【上半身と下半身の連動<応用②>】

【骨盤を立てるトレーニング】

12.【骨盤を立てるトレーニング】

【全身連動リラクスマーブメント】

13.【全身連動リラクスマーブメント】

【姿勢チェック】

14.まとめ

【事前・事後学習-後期】

毎回授業で習った事を必ず各自で復習し、生活の中に取り入れていくこと。

【オフィスアワー】

月曜日 調布教室にて授業前後に時間を確保します。

【その他】

服装や持ち物については開講時に説明する。

| | | | | | |
|-----------------------------------|----------|----|--------|--------|---------|
| 469,470 体育実技ナンバリズミック α(前期), β(後期) | | | | | |
| 担当教員 | 須関 裕子 講師 | | 曜日時限 | 水 2 時限 | |
| 実施キャンパス | 仙川 | 単位 | 各 1 単位 | 対象年次 | 学部 1 年～ |

【授業の概要】

本授業では、ナンバの合理的な動きを応用して、音楽に合わせ、リズムカルに楽しく、気持ちよく身体を動かし、全身のリズム感を養う。また、骨のしくみ等を知り、自分の身体と対話をしながら運動することで、日常生活から演奏時まで、無理のない、より良い身体の使い方を探っていく。

【到達目標】

身体の使い方を探求し、演奏に生かしていく。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

履修者は15人以内とします。制限人数を超える場合は、オリエンテーションにて人数調整の抽選(教職必修の4年生を優先)を行います。

【授業の形式】

【対面授業】演習中心

感染予防対策を講じたうえで、【対面授業】を実施します。

※受講者は、授業前後の手洗いおよびマスクの着用を徹底して下さい。

※感染状況などにより途中で対面授業が実施できなくなった場合は、オンライン授業に切り替えます。

【成績評価の要点①】

| | | | | | |
|----|-------|------|-------|-----|--------|
| 試験 | 小テスト等 | レポート | 発表・作品 | 出席率 | 授業への取組 |
| | | | | ○ | ○ |

【成績評価の要点②】

出席率、受講態度、課題の提出状況およびその内容を総合的に勘案して成績評価する。

【授業展開と内容-前期】

1.オリエンテーション

2.心身のほぐし

3.骨について

4.骨体操 ～骨盤～

- 5.骨体操 ～胸郭、肩甲骨～
- 6.骨体操 ～股関節・脚～
- 7.骨体操まとめ①・7つのムーヴメントより
- 8.骨体操まとめ②・7つのムーヴメントより
- 9.手の骨について・7つのムーヴメントより

- 10.ナンバのステップなど
- 11.ナンバを応用した動き①
- 12.ナンバを応用した動き②
- 13.ナンバを応用した動き③
- 14.まとめ

【事前・事後学習-前期】

授業を振り返り、日常生活や、楽器を演奏する際の身体の動きに、意識を向けましょう。授業の中で、快く感じた動きを、普段から取り入れてみてください。

【授業展開と内容-後期】

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1.オリエンテーション 2.心身のほぐし 3.骨について 4.骨体操 ～骨盤～ 5.骨体操 ～胸郭、肩甲骨～ 6.骨体操 ～股関節・脚～ 7.骨体操まとめ①・7つのムーヴメントより | <ol style="list-style-type: none"> 8.骨体操まとめ②・7つのムーヴメントより 9.手の骨について・7つのムーヴメントより 10.ナンバのステップなど 11.ナンバを応用した動き① 12.ナンバを応用した動き② 13.ナンバを応用した動き③ 14.まとめ |
|--|---|

【事前・事後学習-後期】

授業を振り返り、日常生活や、楽器を演奏する際の身体の動きに、意識を向けましょう。授業の中で、快く感じた動きを、普段から取り入れてみてください。

【オフィスアワー】

授業時に指示する

【その他】

本授業に関する問い合わせは、suseki-hiroko@pl.tohomusic.ac.jp 宛に、各自の桐朋ドメインアドレスから送るようにしてください。

| | | | | | |
|--|----------|-----------|-------------|-------------|---------|
| 471,472 体育実技体育実技 Let's Play! α (前期), β (後期) | | | | | |
| 担当教員 | 野上 圭太 講師 | | 曜日時限 | 火 1時限 | |
| 実施キャンパス | 調布 | 単位 | 各 1 単位 | 対象年次 | 学部 1 年～ |

【授業の概要】

「Play」とは音楽家の皆さんにとって「演奏する」、スポーツでは「競技する」等ありますが、辞書の先頭に出てくる意味は「遊ぶ」です。この遊ぶことを通じて動き、考え、健全な体を作っていきます。遊びは楽しいものです。楽しくゲームをしていきましょう！

【到達目標】

音楽は主体が個人かもしれませんが、時にはオーケストラのようにグループの機会もあるでしょう。ゲームをしていく中で知恵を出し、話し合い戦略を立てます。“ONE TEAM”となって勝利を目指し、それを音楽フィールドでの結束力につなげてください。さらに、いろいろな動きをすることによって身体活動を活発にし、運動不足解消につなげます。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

【対面】実技 で実施します。新型コロナウイルスの影響により、定員 30 名。

* 世の中の動向により、対面授業が中止になった場合は遠隔授業 (Zoom) に切り替えます。

【授業の形式】

【対面】実技

ゲームをチーム戦で実施します。ルール説明の上、チーム戦略を立て、遊んで楽しみましょう。延期されたオリンピック・パラリンピックイヤーでもある今年度、その種目にもチャレンジしていきます！

【成績評価の要点①】

| 試験 | 小テスト等 | レポート | 発表・作品 | 出席率 | 授業への取組 |
|----|-------|------|-------|-----|--------|
| | | ○ | | ○ | ○ |

【授業展開と内容-前期】

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 1.<オリエンテーション> 授業説明 | 8.ドッジビー |
| 2.椅子取りゲーム | 9.ペア縄跳び |
| 3.ボウリングⅠ | 10.大縄(連続8の字跳び) |
| 4.ボウリングⅡ | 11.風船リレー |
| 5.ボウリングⅢ | 12.転がしリレー |
| 6.ポッチャⅠ | 13.リレー |
| 7.ポッチャⅡ | 14.<学習内容のまとめ>【遠隔授業】Zoom 実技 |

【事前・事後学習-前期】

各種目について、自分なりの作戦を事前にまとめておくこと。

【授業展開と内容-後期】

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1.<オリエンテーション> 授業説明 | 8.ボールゴール |
| 2.ジェスチャーゲーム | 9.フラフープくぐり跳び |
| 3.ペットボトル立て | 10.大縄(チームジャンプ) |
| 4.玉入れ | 11.蛇じゃんけん |
| 5.卓球 | 12.跳躍リレー |
| 6.押し引き相撲 | 13.リレー |
| 7.アルティメット | 14.<学習内容のまとめ> |

【事前・事後学習-後期】

各種目について、自分なりの作戦を事前にまとめておくこと。

【オフィスアワー】

火曜日 1限後 教員室及び教室

【教材】

必要に応じてプリント資料配布。

【その他】

運動に支障のない服装とシューズ。水分は必ず持ってくること。縄跳び(短縄)を各自用意すること。

*対面授業の体育実技のため、遠隔希望の学生は受け入れ不可とする。(大学として対面授業禁止となった場合はその限りでなく、授業自体を遠隔へと移行する)

473,474 体育実技音楽と共に生きる心と身体 α(前期), β(後期)

| | | | | | |
|---------|----------|------|--------|------|---------|
| 担当教員 | 須関 裕子 講師 | 曜日時限 | 水 3 時限 | | |
| 実施キャンパス | 仙川 | 単位 | 各 1 単位 | 対象年次 | 学部 1 年～ |

【授業の概要】

本授業では、「心」「身体」と向き合い、自分らしいパフォーマンスの実現・より豊かな音楽活動が出来るようになることを目標に、学んでいく。快く身体を動かすことによって、心身のバランスを整え、自分の理想の音・音楽に近づけるように、探求していく。

【到達目標】

自分にとって「快い動きとは何か」を探求し、普段の生活・音楽活動に活かせるようになること。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

履修者は 15 人以内とします。制限人数を超える場合は、初回オリエンテーションにて人数調整の抽選(教職必修の 4 年生を優先)を行います。

【授業の形式】

【対面授業】ワークショップ形式(講義と演習)

感染予防対策を講じたうえで、【対面授業】を実施します。

※受講者は、授業前後の手洗いおよびマスクの着用を徹底して下さい。

※感染状況などにより途中で対面授業が実施できなくなった場合は、オンライン授業に切り替えます。

【成績評価の要点①】

| 試験 | 小テスト等 | レポート | 発表・作品 | 出席率 | 授業への取組 |
|----|-------|------|-------|-----|--------|
| | | | | ○ | ○ |

【成績評価の要点②】

出席率や受講態度、課題の提出状況およびその内容を総合的に判断して行う。

【授業展開と内容-前期】

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 1.オリエンテーション | 7.心も身体も快く①～7つのムーブメントより～ |
| 2.心身のほぐし | 8.心も身体も快く②～7つのムーブメントより～ |
| 3.ボディマッピング～自分の身体を知る～ | 9.心も身体も軽やかに～リズムカルな動き①～ |
| 4.ボディマッピング～自分をよく観察し動いてみよう～ | 10.心も身体も元気に～リズムカルな動き②～ |
| 5.骨を動かして身体を整える～骨体操より～ | 11.心も身体も柔軟に～リラックス～ |
| 6.骨を動かして元気になる～骨体操より～ | 12.心と身体～身体を動かして心の変化をみる～ |
| | 13.実践につなげる～演奏がどのように変化するか～ |
| | 14.まとめ～音楽と生きる心と身体～ |

【事前・事後学習-前期】

授業内で学習したこと・必要と感じたことに対して、積極的に日常に取り入れてみてください。

【授業展開と内容-後期】

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1.オリエンテーション | 5.骨を動かして身体を整える～骨体操より～ |
| 2.心身のほぐし | 6.骨を動かして元気になる～骨体操より～ |
| 3.ボディマッピング～自分の身体を知る～ | |
| 4.ボディマッピング～自分をよく観察し動いてみよう～ | 7.心も身体も快く①～7つのムーブメントより～ |

- 8.心も身体も快く②～7つのムーヴメントより～
- 9.心も身体も軽やかに～リズムカルな動き①～
- 10.心も身体も元気に～リズムカルな動き②～
- 11.心も身体も柔軟に～リラックス～

- 12.心と身体～身体を動かして心の変化をみる～
- 13.実践につなげる～演奏がどのように変化するか～
- 14.まとめ～音楽と生きる心と身体～

【事前・事後学習-後期】

授業内で学習したこと・必要と感じたことに対して、積極的に日常に取り入れてみてください。

【オフィスアワー】

授業時に指示する

【その他】

本授業に関する問い合わせは、suseki-hiroko@pl.tohomusic.ac.jp 宛に、各自の桐朋ドメインアドレスから送るようにしてください。

| | | | | | |
|---------------------------------------|--|-----------|--|-------------|--|
| 475,476 体育実技特別コース α(前期), β(後期) | | | | | |
| 担当教員 | | 荒巻 由紀 講師 | | 曜日時限 | |
| | | | | 金 4 時限 | |
| 実施キャンパス | | 単位 | | 対象年次 | |
| 仙川 | | 各 1 単位 | | 学部 1 年～ | |

【授業の概要】

通常の体育実技授業への参加を医師から止められている学生、1ヶ月以上に渡って通常の体育実技授業を病気・ケガなどにより参加できない学生のための授業。

【到達目標】

受講生により個別に設定する

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

医師の診断書を必要とする

【授業の形式】

随時指示する

【成績評価の要点①】

| 試験 | 小テスト等 | レポート | 発表・作品 | 出席率 | 授業への取組 |
|----|-------|------|-------|-----|--------|
| | | ○ | | ○ | ○ |

【成績評価の要点②】

成績評価はおもにレポートによって行うが、出席率、平常点などの要素も総合的に勘案して成績評価をする。

【事前・事後学習-前期】

授業内で学んだ内容を、日常生活や演奏活動に応用させたいうえで、更なる課題を見出すこと。

【事前・事後学習-後期】

授業内で学んだ内容を、日常生活や演奏活動に応用させたいうえで、更なる課題を見出すこと。

【オフィスアワー】

木曜日 14:30～17:00 体育センター1階体育教室

【その他】

本授業についての問い合わせは、y-aramaki@tohomusic.ac.jp へ、各自の桐朋ドメインアドレスから送ってください。

478,479 体育実技水泳 I α (前期), β (後期)

| | | | | | |
|---------|----------|------|--------|------|---------|
| 担当教員 | 伊澤 英紀 講師 | 曜日時限 | 木 4 時限 | | |
| 実施キャンパス | 仙川 | 単位 | 各 1 単位 | 対象年次 | 学部 1 年～ |

【授業の概要】

水中でのからだの動作特性を理解しながら、個々の泳能力に応じて、4 泳法の技能向上を図る。また、幅広い領域での水中活動を実践できる能力を身に付けることで、生涯にわたり、水中活動を楽しみ、健康を維持・増進する能力の獲得を図る。

【到達目標】

泳ぎの基本となる 4 泳法(クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ)の技術習得・泳力向上を目的とする。また、水の中でからだを動かすことにより、泳法による動きの違いから、それぞれの泳法の特徴を見出し、感覚や日常における動作との関連性を深める。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

全学年全学科対象。泳ぐことに適した水着を着用すること。また、スイムキャップおよびゴーグルを着用のこと。授業は前向きな姿勢で取り組むこと。

【授業の形式】

プールでの体育実技 【対面】実技

【成績評価の要点①】

| 試験 | 小テスト等 | レポート | 発表・作品 | 出席率 | 授業への取組 |
|----|-------|------|-------|-----|--------|
| | | ○ | | ○ | ○ |

【授業展開と内容-前期】

1.4 月 9 日(木) オリエンテーション

第 1 回目は、仙川キャンパス 体育センター2 階 ラウンジでオリエンテーションを行います。オリエンテーションは、授業の説明を行いますので、泳ぐ準備は必要ありません。泳ぎたい学生は、初回の授業から泳ぐこともできますので、泳ぐ準備(水着、キャップ、ゴーグル)をして、出席して下さい。事前に質問があれば、伊澤へ連絡を下さい。

r_rizawa@ybb.ne.jp

2.4 月 16 日 水慣れ及び泳力チェック

3.4 月 23 日 水の特性及び各種泳法について

4.5 月 6 日 クロール泳 プル(上半身の動作)

5.5 月 13 日 クロール泳 キック(下半身の動作)

6.5 月 20 日 平泳ぎ プル(上半身の動作)

7.5 月 27 日 平泳ぎ キック(下半身の動作)

8.6 月 3 日 背泳ぎ プル(上半身の動作)

9.6 月 10 日 背泳ぎ キック(下半身の動作)

10.6 月 17 日 バタフライ プル(上半身の動作)

11.6 月 24 日 バタフライ キック(下半身の動作)

12.7 月 1 日 クロール・背泳ぎのターン

13.7 月 15 日 平泳ぎ・バタフライのターン

14.7 月 22 日 4 泳法での泳力チェック

【事前・事後学習-前期】

毎回授業で解説を聞いた後、必ず各自で復習し、内容をよく理解してください。次回の授業に向けて、予め読んでおく資料を指定することもあるので、そのような場合には必ず準備をしてくること。(目安各60分)

【授業展開と内容-後期】

1.オリエンテーション 9 月 23 日

第 1 回目は、仙川キャンパス 体育センター2 階 ラウンジでオリエンテーションを行います。オリエンテーションは、授

業の説明を行いますので、泳ぐ準備は必要ありません。泳ぎたい学生は、初回の授業から泳ぐこともできますので、泳ぐ準備(水着、キャップ、ゴーグル)をして、出席して下さい。

事前に質問があれば、伊澤へ連絡を下さい。

r_r_izawa@ybb.ne.jp

2.9月30日 水慣れ及び泳力チェック

3.10月7日 水の特性及び各種泳法について

4.10月14日 クロール泳 プル(上半身の動作)

5.10月21日 クロール泳 キック(下半身の動作)

6.10月28日 平泳ぎ プル(上半身の動作)

7.11月4日 平泳ぎ キック(下半身の動作)

8.11月11日 背泳ぎ プル(上半身の動作)

9.11月18日 背泳ぎ キック(下半身の動作)

10.11月25日 バタフライ プル(上半身の動作)

11.12月2日 バタフライ キック(下半身の動作)

12.12月9日 クロール・背泳ぎのターン

13.1月6日 平泳ぎ・バタフライのターン

14.1月13日 4泳法での泳力チェック

【事前・事後学習-後期】

毎回授業で解説を聞いた後、必ず各自で復習し、内容をよく理解してください。次回の授業に向けて、予め読んでおく資料を指定することもあるので、そのような場合には必ず準備をしてくること。(目安各60分)

【オフィスアワー】

仙川キャンパス体育センターにて、木曜日・金曜日に授業前後に時間を確保します。